施策評価シート 平成23年度 評価対象年度 政策 3 施策 6 農林水産部,経済商工 施策名 6 競争力ある農林水産業への転換 施策担当部局 観光部 「宮城の将来 地域経済を支える農林水産業の競争力 農林水産部 評価担当部局 政策名 3 ビジョン」に (作成担当課室) (農林水産政策室) 強化

> 〕消費者からの高い信頼を得て,全国的にも高い知名度を誇り,「食材王国みやぎ」を代表するブラ ノドとして確立された,農林水産物が増加している。

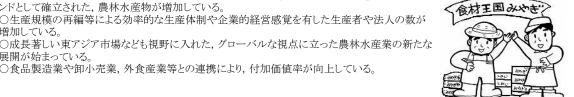
施策の目的

おける体系

○生産規模の再編等による効率的な生産体制や企業的経営感覚を有した生産者や法人の数が 増加している。

(目標とする 宮城の姿)

展開が始まっている。 ○食品製造業や卸小売業,外食産業等との連携により,付加価値率が向上している。



施策の方向

◇ 消費者ニーズに対応するマーケットイン型の農林水産業への転換支援や「食材王国みやぎ」を支える県産農林水産物のブラント 化を推進する 企業参入等による大規模生産法人や集落営農組織等による園芸生産の拡大を図り、バランスの取れた農業生産構造への転換

を促進する

農地の団地化など効率的利用を進めるとともに、米粉用米・飼料用米等の生産を拡大し、水田の有効活用を図る。

(「宮城の将来 ビジョン・震災 復興実施計 画」の「将来ビ

ジョン・震災復 興実施計画」

の行動方針)

☆達成庫

本県農業をリードするアグリビジネス経営体の育成など、企業的経営を促進する。 ◇ 間伐等の森林整備の推進や低コストで安定的な木材の供給を促進するとともに、優良みやぎ材等の良質な製材品等の加工・流 通を支援する。

- 水産資源の適切な管理を図る。あわせて、水産物の水揚げ強化や水産加工品等の商品開発による付加価値向上を支援する。
- 県内農林水産物の需要拡大等を図るため、農林水産業と流通加工業者等のビジネスマッチングを支援し、農商工連携を促進す
- 食材王国みやぎ農林水産物等輸出促進基本方針に基づき、香港・台湾・韓国・中国・ロシア等の重点地域に向けた県産食品の 輸出を促進する。
- 農林水産業における経営コストの低減や効率的な生産に資するため、生産基盤の整備を促進する。

施策に関する社会経済情勢等の状況 (全国・隣県・本県の状況, 法令・条例・計画等策定の状況等について)

- ・東日本大震災により、本県農林水産業は、沿岸部を中心に甚大な被害を受け、生産基盤はもとより、生活基盤や多くの担い手を失った。震災前の 状態へ復旧するには、相当な時間を要すると考えられ、農林漁業者の事業再開までの道のりは大変厳しいものとなっており、更なる担い手の減少が 懸念されている。
- ・また, 環太平洋経済連携協定(TPP)をはじめとする貿易自由化の動きが加速化するなど, 取り巻く環境は厳しさを増しており, 早期復旧を図ること はもとより、本県農林水産業の競争力をより一層強化していくことが喫緊の課題となっている。
- ・さらには、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射能問題を受け、今まで築きあげてきた県産農林水産物の安全・安心を維持し、"食材王 "の信頼を守り続けるためにも、放射性物質検査体制の整備と正確な情報発信等の対策が必要である。
- ・このような状況を受け,県震災復興計画を基に農林水産部の各分野において,「みやぎの農業・農村復旧計画」「みやぎ森林・林業の震災復興プラ ン」「宮城県水産業復興プラン」を平成23年10月に策定した。

決算(見込)額	年度	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (決算(見込)額)	平成24年度 (決算(見込)額)	平成25年度 (決算(見込)額)
(千円)	県事業費	4,889,778	98,762,433	-	-

※事業費は「宮城の将来ビジョン推進事業」と「取組に関連する宮城県震災復興推進事業」の合計額(再掲分含む)

目標	A:「目標値を達成している」 B:「目標値を達成していないが,設定時の値から見て指標が目指する C:「目標値を達成しておらず,設定時の値から見て指標が目指す数	値の変化と逆方向	に推移している」		_
	N:「現況値が把握できず,判定できない」	初期値 (測定年度)	現況値 (測定年度)	目標値 (測定年度)	達成度
1	農業産出額(億円)	1,875億円 (平成20年)	1,679億円 (平成22年)	1,940億円 (平成25年)	С
2	水田の不作付地面積(ha)	7,969ha (平成20年度)	6,645ha (平成23年度)	4,240ha (平成25年度)	В
3	新規需要米(米粉用米, 飼料用米)の作付面積(ha)	155ha (平成20年度)	2,020ha (平成23年度)	2,200ha (平成25年度)	В
4	園芸作物産出額(億円)	345億円 (平成19年)	331億円 (平成22年)	413億円 (平成25年)	С
5	アグリビジネス経営体数(経営体)	58経営体 (平成20年度)	74経営体 (平成23年度)	100経営体 (平成25年度)	В
6	林業産出額(億円)	90億円 (平成19年)	76億円 (平成22年)	116億円 (平成25年)	С
7	優良みやぎ材の出荷量(m³)	22,900 m³ (平成20年度)	21,060 ㎡ (平成22年度)	25,000 m ³ (平成25年度)	Α
8	漁業生産額(億円)	808億円 (平成19年)	791億円 (平成21年)	486億円 (平成25年)	В
9	主要5漁港(気仙沼・志津川・女川・石巻・塩釜)における水揚金額(億円)	716億円 (平成20年)	602億円 (平成22年)	361億円 (平成25年)	В

10	水産加工品出荷額(億円)	2,817億円	2,754億円	1,402億円	В
		(平成19年)	(平成91年)	(平成25年)	

■ 施策評価 (原案)

施策の成果

目標指標等, 県民意識調査結果, 社会経済情勢, 事業の実績及び成果等から見て, 施策現期待される成果を発かににませることができたか(「目標とする官城の姿」に近づいている

評価の理由

・各指標においては、国の統計数値等を利用しているため、震災の影響が出る前の実績を反映したものが主である。 ・目標指標については、H22年の農業産出額は約40%を占める米において、生産量は増加したものの価格は大きく下落 し、前年度に比べて7.9%減少している。林業産出額は素材生産量が減少し木材価格も下落傾向にあること、また漁業生 産額についても資源の状況等による漁獲量の減少や、魚価安等により、それぞれ目標値に達しなかった。

・年間販売額1億円以上のアグリビジネス経営体数や新規需要米の作付面積が増加しており、効率的な生産体制や新たな取り組みを実施する生産者数が増加するなどの成果が現れている。

・県産木材のブランド化については、県産材利用住宅や木造公共施設への支援を実施したことにより、一般消費者や住宅建設業界等へ「県産材」や「優良みやぎ材」の認知度が高まってきている。

・不作付け面積においては、目標に近づきつつあるが、被災農地面積が広大なため、今後目標値に対し影響が出ると思われる。

・主要5漁港については、水揚量(318,719 ^トッ)が前年比1.6%(5千t)増加し、漁業生産額(602億円)は、前年比13.7%(73円)増加した。

・H21年の水産加工品出荷額(億円)における出荷額(2,754億円)は前年比3%(83億円)減少した。

・H20年、H22年に実施された県民意識調査では、「重視」の割合が60%台で推移しており、この施策に対する県民の期待がある程度高いことがうかがえるが、一方「満足」の割合が40%弱で推移しており、やや低めに出ている。

・掲載されている各事業では、震災の影響によりビジョン推進事業において、中止せざるを得ない事業が多かったが、その分震災復興推進事業が多く追加され、決算額で比較すると対前年度比で25倍弱の事業費となった。

・この施策に関するH23年度事業は計画どおり実施されており、また各指標の集計はAが1, Bが6, Cが3と施策の方向性に沿っていると判断されるため、概ね順調に推移しているものと判断される。

概ね順調

【評価】

施策を推進する上での課題と対応方針 (原案)

※施策が直面する課題や改善が必要な事項等 ※今年度の対応状況を含む今後の対応方針

【課題】

か)。

1. 震災からの生産力の回復

【対応方針】

・生産基盤の早期回復: 農地の除塩,用排水施設等復旧。 ほ場の大区画化の推進。 漁港の復旧とがれき撤去。 種苗生産施設の早期復旧等を図 ス

・農林漁業者の事業再開・再建支援: 就農機会の確保。農地集積の支援。再開に必要な資材や種苗の確保について支援する。

・食品関連施設等の早期回復: 協同組合等の施設や設備の再建支援。共同利用施設の復旧や共同利用機器の整備等を支援する。 【課題】

2. 需用者を意識した農林水産物の生産体制の強化

【対応方針】

- ・経営体の育成・強化:経営感覚に優れた担い手の育成。民間資本の導入や異業種からの参入促進。生産組合化や法人化による事業再開支援。
- ・園芸・畜産の振興: 規模拡大や新規部門への導入支援。基幹種雄牛を活用した経営強化や規模の拡大への支援。
- ・需要に即した生産・供給の推進: 加工・業務用野菜の生産拡大, 園芸品目導入の推進。意欲ある経営体への農地利用集積促進。 水揚げ漁船の誘致。
- ・安全・安心の強化: 環境保全型農業の推進,「GAP(農業生産工程管理手法)」の普及拡大。各種衛生検査の推進による, 食中毒の未然防止。 【課題】
- 3. "みやぎ"ブランドの再生と販売力の強化・消費拡大

【対応方針】

- ・"みやぎ"ブランドの生産体制の再構築: 震災による風評被害への対策,販路の回復や開拓等のブランド再生に向けた取組への支援。
- ・「食材王国みやぎ」の展開: 宮城米の消費拡大,農林水産物及び加工品の海外への販路開拓支援。「売れる商品づくり」から販路拡大までの総合 支援。
- ・農商工連携や6次産業化の推進: 商工業者への情報提供や新商品開発支援,契約栽培につなげる農商工連携の推進。
- ・県産農林水産物の消費拡大: 地産地消や食育の推進。県産米の米粉及び県産米粉食品の認知度向上と消費拡大を図る。

【課題】

4. 原子力災害に伴う農林水産物への影響対策

【対応方針】

・放射性物質検査体制の整備・検査結果の情報提供と農業者等への技術支援・汚染物質の円滑な処理の推進

政策 3 施策 6

目標指標等の状況

- ※目標指標等の達成度 A:「目標値を達成している」 B:「目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と同方向に推移している,又は現状維持している」 C:「目標値を達成しておらず、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と逆方向に推移している」 N:「現況値が把握できず、判定できない」

	指標等名(下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26	Г				
口际	1日1示寸口(下段:說明)	指標測定年度	H20	H22	H23	H24	H25	1				
農業産	出額(億円)	目標値(a)	-	1,853	1,882	1,911	1,940	2000				
		実績値(b)	1,875	1,679	-	-	-	1950				
1		達成(進捗)率(b)/(a)	-	91%	_	_	_	1930				,♦
品目別	生産量に農家庭先価	是[% (是[9 /中(6)/(1)/		3170				1900		,- ⁽⁾	,0	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	じたものの合計。 生産 得統計。								 ₹ ~	- O		
及木川	147/hr b 1 0	達成度	_	С	_	_	_	1850				
								1800	— \			
	・「第2期みやぎ食と農							1	\			
	産出額目標を平成27年 (平成21年)の1,824億							1750				
目標値の	とに各年度の目標値を			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	.4, 4,4.0	1111 - 0	1700				
設定根拠									_			
								1650				
								1600			目標	
実績値の	平成22年の農業産出物 出額の約40%を占める							1000		_		
天領他の	出額の約40%を占める							1550			実績	
73 171	である。	III and the state of the state			()]		- 11					
全国平均值	平成22年の全国の農業 ▲7.9%よりも減少率が							1500			10.4	
や近隣他県	に占める米の割合が全	≧国では19%と本県	よりも低い	ためであ	5 .	,			H20 H22	H23 I	H24	H25
等との比較	近隣他県の伸び率は, 福島県▲4.9%となって		上県▲4.5%	%,秋田県	₹▲ 13.8%	,∐形県◢	1 .8%,					
目標	上 指標等名(下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26					
		指標測定年度	H20	H23	H24	H25	_	9.000				
水田の			1120		ПZ4	1120			_			
	不作付地面積(ha)	目標値(a)	-	4,240	4,240	4,240	_	9,000				
2	不作付地面積(ha)	目標値(a) 実績値(b)		4,240 6,645				8,000				
2	不作付地面積(ha) ,農産園芸環境課調べ	実績値(b)	_					8,000				
2		実績値(b)	_	6,645				1				
2	, 農産園芸環境課調べ	実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 した「食料自給率応	- 7,969 - ー 可上に向け	6,645 64% B た水田有	4,240 - - - 効活用方	4,240 - - ー 針」におい	- - - - - いて, 水田	8,000				
統計値	, 農産園芸環境課調べ ・平成21年1月に策定 の有効活用の観点から	実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 した「食料自給率応 方、不作付地面積約	- 7,969 - - 可上に向け 18千haを引	6,645 64% B た水田有	4,240 - - - 効活用方	4,240 - - ー 針」におい	- - - - - いて, 水田	8,000 7,000 6,000				
2	, 農産園芸環境課調べ	実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 した「食料自給率応 方、不作付地面積約	- 7,969 - - 可上に向け 18千haを引	6,645 64% B た水田有	4,240 - - - 効活用方	4,240 - - ー 針」におい	- - - - - いて, 水田	8,000 7,000				
統計値	, 農産園芸環境課調べ ・平成21年1月に策定 の有効活用の観点から	実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 した「食料自給率応 方、不作付地面積約	- 7,969 - - 可上に向け 18千haを引	6,645 64% B た水田有	4,240 - - - 効活用方	4,240 - - ー 針」におい	- - - - - いて, 水田	8,000 7,000 6,000	***	>		
統計値	・平成21年1月に策定 の有効活用の観点から 半減させることを基本目 ・平成21年度から3カ4	実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 した「食料自給率店」、不作付地面積約 目標とするとしている	- 7,969 - - 可上に向け 18千haを平 3。	6,645 64% B 大水田有 下成23年	4,240 - - - 効活用方 要までに新	4,240 - - - 針」におい J4千haと3	- - - - - で, 水田 年間で	8,000 7,000 6,000 5,000 4,000	\$ \\ \displaystyle \tag{\displaystyle \tag{\di	>	→	
名 統計値 目標値の 設定根拠	・平成21年1月に策定の有効活用の観点から半減させることを基本目・平成21年度から3カ4作ということで、新規需向はで発力にでける。	実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 した「食料自給率店」,不作付地面積約 目標とするとしている 手,不作付地の削減 要米等の水稲の作	- 7,969 - 可上に向け 7,8千haを ³ 5。 域に向けて 様けを推	6,645 64% B けた水田有 下成23年 が進してきた	4,240 - - 効活用方 要までに新 田や保全行 。 平成22	4,240 - - - 針」におい J4千haと3	- - - - - - な年間で が 毎年間で	8,000 7,000 6,000 5,000	*	>	→	
2 統計値 目標値の 設定根拠	・平成21年1月に策定の有効活用の観点から半減させることを基本に ・平成21年度から3カイ作ということで、新規需向けて徐々にではあるは、東日本大震災のた	実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 した「食料自給率店」,不作付地面積約 目標とするとしている 事,不作付地の削減要米等の水稲の作が、削減できていた。 め,作付できないこめ,作付できないこ	- 7,969 - - 可上に向け 18千haを ³ る。 域に向けて だ付けを推 た(平成229 面積が発生	6,645 64% B けた水田有 下成23年 進してきた 年度 6,43 Eし,8,000	4,240 - - 効活用方 までに糸 田や保全 。平成22 33ha)。平成 phaが統計	4,240 - - - 針」におい 34千haと3 管理水田に 年度まで、 大23年度に 上の田本:	- - - - - な年間で ご適標にこで 地面積か	8,000 7,000 6,000 5,000 4,000	*		◇	
名 統計値 目標値の 設定根拠	・平成21年1月に策定の有効活用の観点から半減させることを基本に ・平成21年度から3カ4作ということで、新規需向けて徐々にではあるは、東日本大震災のたら削減された。その結り	実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 した「食料自給率店」,不作付地面積約 目標とするとしている 事、不作付地の削減要米等の水稲の作が、削減できていた。 め、作付できない。 果、統計上の試算値	- 7,969 - - 可上に向け 18千haを ³ る。 域に向けて だ付けを推 では、その ででは、6,6	6,645 64% B けた水田有 下成23年 進してきた 年度 6,43 Eし,8,000 645haの実	4,240 - - 効活用方 までに糸 田や保全 。平成22 33ha)。平原 haが統計 績となるか	4,240 - - - 針」におい 34千haと3 管理水田に 年度まで、 大23年度に 上の田本:	- - - - - な年間で ご適標にこで 地面積か	8,000 7,000 6,000 5,000 4,000 3,000 2,000	\$		目標	
2 統計値 目標値の 設定根拠	・平成21年1月に策定の有効活用の観点から半減させることを基本に ・平成21年度から3カイ作ということで、新規需向けて徐々にではあるは、東日本大震災のた	実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 した「食料自給率店」,不作付地面積約 目標とするとしている 事、不作付地の削減要米等の水稲の作が、削減できていた。 め、作付できない。 果、統計上の試算値	- 7,969 - - 可上に向け 18千haを ³ る。 域に向けて だ付けを推 では、その ででは、6,6	6,645 64% B けた水田有 下成23年 進してきた 年度 6,43 Eし,8,000 645haの実	4,240 - - 効活用方 までに糸 田や保全 。平成22 33ha)。平原 haが統計 績となるか	4,240 - - - 針」におい 34千haと3 管理水田に 年度まで、 大23年度に 上の田本:	- - - - - な年間で ご 道標に こで 地面積か	8,000 7,000 6,000 5,000 4,000 3,000	*			
2 統計値 目標値の 設定根拠 実績値の 分析	・平成21年1月に策定の有効活用の観点から半減させることを基本目・平成21年度から3カ4作ということで、新規需向けて徐々にではあるは、東日本大震災のたら削減された。その結り削減分と併せた、14,66比較していない。宮城	実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 した「食料自給率応 っ、不作付地面積約 目標とするとしている 要、等の水稲の作 が、削減できていた め、作付できない。 果、統計上の試算化 45haが不作付地とし	- 7,969 - 可上に向け 78千haを引 3。 域に向けて がそ付けを推 では、6,6 で計算さ	6,645 64% B けた水田有 下成23年 進してきた 年度 6,43 Eし,8,000 645haの実	4,240 - - 効活用方 までに糸 田や保全 。平成22 33ha)。平原 haが統計 績となるか	4,240 - - - 針」におい 34千haと3 管理水田に 年度まで、 大23年度に 上の田本:	- - - - - な年間で ご 道標に こで 地面積か	8,000 7,000 6,000 5,000 4,000 3,000 2,000	*		目標	
2 統計値 目標値の設定根拠 実績値の 分析	・平成21年1月に策定の有効活用の観点から半減させることを基本目・平成21年度から3カイ作ということで、新規需向けて徐々にではあるは、東日本大震災のたら削減された。その結り削減分と併せた、14,64比較していない。宮城	実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 した「食料自給率応 っ、不作付地面積約 目標とするとしている 要、等の水稲の作 が、削減できていた め、作付できない。 果、統計上の試算化 45haが不作付地とし	- 7,969 - 可上に向け 78千haを引 3。 域に向けて がそ付けを推 では、6,6 で計算さ	6,645 64% B けた水田有 下成23年 進してきた 年度 6,43 Eし,8,000 645haの実	4,240 - - 効活用方 までに糸 田や保全 。平成22 33ha)。平原 haが統計 績となるか	4,240 - - - 針」におい 34千haと3 管理水田に 年度まで、 大23年度に 上の田本:	- - - - - な年間で ご 道標に こで 地面積か	8,000 7,000 6,000 5,000 4,000 3,000 2,000 1,000	H20 H23		目標実績	
2 統計値 目標値の 設定根拠 実績値の 分析	・平成21年1月に策定の有効活用の観点から半減させることを基本目・平成21年度から3力作ということで、新規需向けて徐々にではあるは、東日本大震災のたら削減された。その結り削減分と併せた、14,66比較していない。宮城	実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 した「食料自給率応 っ、不作付地面積約 目標とするとしている 要、等の水稲の作 が、削減できていた め、作付できない。 果、統計上の試算化 45haが不作付地とし	- 7,969 - 可上に向け 78千haを引 3。 域に向けて がそ付けを推 では、6,6 で計算さ	6,645 64% B けた水田有 下成23年 進してきた 年度 6,43 Eし,8,000 645haの実	4,240 - - 効活用方 までに糸 田や保全 。平成22 33ha)。平原 haが統計 績となるか	4,240 - - - 針」におい 34千haと3 管理水田に 年度まで、 大23年度に 上の田本:	- - - - - な年間で ご 道標に こで 地面積か	8,000 7,000 6,000 5,000 4,000 3,000 2,000 1,000			目標実績	

	目標	指標等名(下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26						
	新規需	要米(米粉用米, 飼料	指標測定年度	H20	H23	H24	H25	-	2500	Γ				
3	用米)の)作付面積(ha)	目標値(a)	_	2,200	2,200	2,200	-						
၂၁			実績値(b)	155	2,020	-	-	-			\$-	- >-	· <	
	新規需: 局)	要米認定面積(農政	達成(進捗)率(b)/(a)	-	92%	-	-	-	2000		-			
	,,,,,		達成度	_	В	_	_	_			1			
		・平成21年1月に「食料 作付地の削減を進める									1			
目	標値の	ことにしている。	0ため, 排水小良小	田寺での	机 况而安》	木の作的に	アを中心に	推進りる	1500					
設	定根拠	・新規需要米は, H20												
		拡大したことから,H2: た。	1,12譲会後日標を2	2,200ha(€§	変更し, で	の後現状	維持を図る	52880		1				
		・「食料自給率向上に「							1000					
		地の削減と併せて,新 1,692haと順調に拡大し												,
	漬値の	少すると思われたが, 和	稲わらの放射能汚鈎	た等により1	飼料の減	少が予想さ	いたため	, 飼料の	500				· - 目標	
:	分析	確保の関係と農業者戸付が拡大した。米粉用							300					
		問題が加入した。不材用 思われる。	木(こ*)V・(は240n	a削後に指	E1分し,二年	以上仍拉	、人はめまり	かないと		⊥		-	一実績	
		・平成22年度は, 飼料	用米が全国1位の作	を付面積と	かってい	たが. 平成	23年度は	作付は拡	0					
	平均值	大したが、青森,秋田、	岩手県等が伸び,							H20	H23	H24	H25	
	丘隣他県 この比較		となっている。											
	の比較	10.11.0 T 11.0 T		知知 法	1100	1124	1105	1106						
	の比較		評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26	450					
	日標	10.11.0 T 11.0 T	評価対象年度指標測定年度	初期値 H19	H23 H22	H24 H23	H25 H24	H25	⁴⁵⁰ [
	日標	指標等名(下段:説明)	評価対象年度 指標測定年度 目標値(a)	H19	H22 -				450 400					♦
等と	まする	指標等名(下段:説明) 物産出額(億円) 業所得統計	評価対象年度 指標測定年度 目標値(a) 実績値(b)		H22			H25						♦
等と	まする	指標等名(下段:說明) 物産出額(億円)	評価対象年度 指標測定年度 目標値(a) 実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a)	H19	H22 - 331 -			H25 413	400 -					♦
等と	まする	指標等名(下段:説明) 物産出額(億円) 業所得統計 『、野菜、果実、花き]	評価対象年度 指標測定年度 目標値(a) 実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度	H19 - 345 -	H22 - 331 - C	H23 - - -	H24 - - -	H25 413	400	_	•			♦
等 4	日標 園芸作 生産農 [いも類	指標等名(下段:説明) 物産出額(億円) 業所得統計 i, 野菜, 果実,花き] ・園芸作物産出額は, 413億円と設定した。な	評価対象年度 指標測定年度 目標値(a) 実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 戦略的な目標設定 お,「みやぎ食と農	H19 - 345 - - として,現:	H22 - 331 - C 状平成19 例基本計	H23 - - - - 年度345億 画」(平成2	H24 - - - - 大円の2割7 3年~平月	H25 413 - - - アップとし 対32年) に	400 -	_	•			♦
等 4	での比較 目標 園芸作 生産農 [いも類	指標等名(下段:説明) 物産出額(億円) 業所得統計 「、野菜、果実、花き] ・園芸作物産出額は、「 413億円と設定した。な おいて農業の農村の身	評価対象年度 指標測定年度 目標値(a) 実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 戦略的な目標設定 お,「みやぎ食と農	H19 - 345 - - として,現:	H22 - 331 - C 状平成19 例基本計	H23 - - - - 年度345億 画」(平成2	H24 - - - - 大円の2割7 3年~平月	H25 413 - - - アップとし 対32年) に	400 = 350 = 300 = 250 = -	-	•			
等 4	日標 園芸作 生産農 [いも類	指標等名(下段:説明) 物産出額(億円) 業所得統計 i, 野菜, 果実,花き] ・園芸作物産出額は, 413億円と設定した。な	評価対象年度 指標測定年度 目標値(a) 実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 戦略的な目標設定 お,「みやぎ食と農	H19 - 345 - - として,現:	H22 - 331 - C 状平成19 例基本計	H23 - - - - 年度345億 画」(平成2	H24 - - - - 大円の2割7 3年~平月	H25 413 - - - アップとし 対32年) に	400 - 350 - 300 - 250 -	_	•			
等 4	での比較 目標 園芸作 生産農 [いも類	指標等名(下段:説明) 物産出額(億円) 業所得統計 減,野菜,果実,花き] ・園芸作物産出額は、 413億円と設定した。な おいて農業の農村の身 でいる。	評価対象年度 指標測定年度 目標値(a) 実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 戦略的な目標設定 さお,「みやぎ食と農 記通し及び目標とし	H19 - 345 - として,現 の県民条 て,平成3:	H22 - 331 - C 状平成19 例基本計 2年の園芸	H23 - - - 年度345億 画」(平成2 手の産出額	H24 - - - - に円の2割汀 3年〜平点 を421億円	H25 413 - - ー アップとし 対32年)に 引と設定し	400 = 350 = 300 = 250 = -	L	•			• • • • • • • • • • • • • • • • • • •
等 4 目設	での比較 目標 園芸 生産 しいも類 標値の 定根拠	指標等名(下段:説明) 物産出額(億円) 業所得統計 減,野菜,果実,花き] ・園芸作物産出額は、 413億円と設定した。なおいて農業の農村の見ている。 ・消費不況による低価で受けやすく産出額が過	評価対象年度 指標測定年度 目標値(a) 実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 戦略的な目標設定 説お,「みやぎ食と農 記通し及び目標とし	H19 - 345 として,現 の県民条 て,平成3:	H22 - 331 - C 状平成19 例基本計 2年の園芸 の低迷が続	H23 - - 年度345億 画」(平成25の産出額	H24 - - - - 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	H25 413 - - - マップとし 対32年)に 引と設定し は影響を でいる一	400 - 350 - 300 - 250 -		1			
4 4 実	での比較 目標 園芸作 生産農 [いも類	指標等名(下段:説明) 物産出額(億円) 業所得統計 前,野菜,果実,花き] ・園芸作物産出額は、 413億円と設定した。なおいて農業の農村の見ている。 ・消費不況による低価で受けやすく産出額が減 方,企業による農業参	評価対象年度 指標測定年度 目標値(a) 実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 戦略的な目標設定 説が、「みやぎ食と農 記通し及び目標とし 格節約志向による則 な少した。園芸農家の 入など大規模な施言	H19 - 345 として,現 の県民条 て,平成3:	H22 - 331 - C 状平成19 例基本計 2年の園芸 の低迷が続	H23 - - 年度345億 画」(平成25の産出額	H24 - - - - 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	H25 413 - - - マップとし 対32年)に 引と設定し は影響を でいる一	400 - 350 - 300 - 250 - 200 - 150 -		•			
4 4 実	で 目標 国 芸 産 を は 標に 標に 標に で 標で で で で で で で の が の の が の の が の の が の の の の の の の の の の	指標等名(下段:説明) 物産出額(億円) 業所得統計 減,野菜、果実,花き] ・園芸作物産出額は、 413億円と設定した。なおいて農業の農村の見ている。 ・消費不況による低価が過去、企業による農業参は、産出額が下げ止ま	評価対象年度 指標測定年度 目標値(a) 実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 戦略的な目標設定 おり、「みび目標とし 格節約志向による関 数少した。園芸農家の 入など大規模な施言 つてきている。	H19 - 345 現: の県民条で、平成3: の売価格のの高齢化に 設園芸団は	H22 - 331 - C 状平成19: 例基本計 2年の園芸 の低迷が続き と伴い園芸	H23 - - - 年度345億 画」(平成2 ほの産出額 ごいている。 き農家の湯 置されてい	H24 - - - た円の2割7 3年~平月 を421億円 特に花き な少が進ん る野菜に	H25 413 - - - マップとし 対32年)に 引と設定し は影響を でいる一 ついて	400 - 350 - 300 - 250 - 200 -		•			
等 4 目設 実 :	で 目標 国 芸 産 を は 標に 標に 標に で 標で で で で で で で の が の の が の の が の の が の の の の の の の の の の	指標等名(下段:説明) 物産出額(億円) 業所得統計 減,野菜、果実,花き] ・園芸作物産出額は、 413億円と設定した。なおいて農業の農村の身でいる。 ・消費不況による低価が受けやすく産出額が減方、企業による農業参は、産出額が下げ止ま	評価対象年度 指標測定年度 目標値(a) 実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 戦略的な目標設定 おが、1000で目標とし 路節約志向による関 数少した。園芸農家で としてきている。 23)→全国平均 75	H19 - 345	H22 - 331 - C 状平成19: 例基本計 2年の園芸 の低迷が続き む等が設置	H23 - - - 年度345億 画」(平成2 ほの産出額 こいている。 芸農家の減 置されてい 33億円, 利	H24 - - - た円の2割7 3年~平月 3年~平月 を421億円 特に花き な少が進ん る野菜に、	H25 413 - - - アップとし 対32年)に 引と設定し は影響を でいる一 ついて	400 - 350 - 300 - 250 - 200 - 150 -			>-	目標	
等と 4 目設 実 2 全が	で 日	指標等名(下段:説明) 物産出額(億円) 業所得統計 i, 野菜, 果実, 花き] ・園芸作物産出額は, 413億円と設定した。なおいて農業の農村の見ている。 ・消費不況による低価受けやすく産出額が減方, 企業による農業参は, 産出額が下げ止ま ◆園芸作物産出額(H ◆増減(H23-H22)→全	評価対象年度 指標測定年度 目標値(a) 実績値(b) 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 戦略的な目標設定 説がした。園芸とし を節約志・園芸機をし 込がした。大規模な施 できている。 23)→全国平均75 岩手県45 と国平均46億円,青	H19 - 345 現・のでは、現・のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	H22 - 331 - C 状平成19: 例基本計 2年の園芸 かば迷が觸き む等が設置 1形県912 意円,秋田	H23 - - - 年度345億 画」(平成2 ほの産出額 こいている。 き農家の減 置されてい 33億円, 私	H24 - - - - - - - - - - - - -	H25 413 - - - マップとし 対32年)に 引と設定し は影響を でいる一 ついて	400 - 350 - 300 - 250 - 150 - 100 - 50 -	H19	•	>-	· - 目標	

平成23年度 政策 評価対象年度 3 施策 6 目標指標等名(下段:説明) 評価対象年度 初期値 H23 H24 H25 H26 指標測定年度 H20 H23 H24 H25 アグリビジネス経営体数(経営 120 体) 100 目標値(a) 5 実績値(b) 58 74 100 農産園芸環境課調べ 達成(進捗)率(b)/(a) 達成度 В 震災復興計画が目指す先進的な農林業の構築と、将来ビジョンにおける競争力のある農 80 林水産業への転換を早期に実現するために、関連産業の付加価値を取り込んで農業経営を発展させる、宮城県農業の牽引役となるアグリビジネス経営体の育成加速化を図る必要 目標値の 設定根拠 がある。 このための指標として、年間販売金額1億円以上の経営体数を設定したもの。 60 ・指標値の測定は、地方振興事務所を通じた調査により実施している。 ・事業拡大に意欲的な農業経営者が増加する中にあって, 中小企業のビジネス支援に実 績のあるみやぎ産業振興機構内にアグリビジネス支援室を設置し、経営の発展段階に応し たきめ細かい支援を、地方振興事務所各部・農業改良普及センターによる関連施策活用 40 支援や経営・技術支援と一体的に実施している --<- 目標 実績値の ・これらの支援が、新たな販売戦略や効率的な生産体制構築を図る経営努力と噛み合っ て,年間販売金額1億円以上の経営体が増加してきた 分析 ・ただし平成23年度は多くの経営体が震災の被害や影響を受けており、年間販売金額1億 20 - 実績 円以上の経営体数は前年より減少した。 宮城県独自の目標指標である。 n 全国平均值 H23 H25 H20 H24 や近隣他県 等との比較 目標指標等名(下段:説明) 評価対象年度 初期値 H23 H24 H25 H26 指標測定年度 H22 H23 H24 H25 H19 140 林業産出額(億円) 目標値(a) 115 115 114 116 6 林業(木材・薪炭・栽培きのこ 実績値(b) 90 76 120 類・川菜等)産出額 **◇--**---達成(進捗)率(b)/(a) 67% [農林水産省「生産林業所得 統計報告所门 達成度 C 100 ・林業生産活動をめぐる状況は、木材価格の下落、生産経費の上昇、林業労働力の高齢 化等により、林業採算性が低下し、森林整備が十分に行われない状況にある このため、生産から流通に至る生産経費の低減を図り、特に木材生産の低コスト化により、 80 林業全体の採算性を向上させ、持続可能な森林・林業経営を確立するための指標として、 目標値の 林業産出額を設定した 設定根拠 ・林業産出額については、「みやぎ森林・林業の将来ビジョン」(H20.3策定)の目標値(素 60 材生産量・特用林産物生産量)を参考に設定した。 ・木材産出額(35.2億円)については、木材価格の長期低迷が続く中で、生産量の落ち込 みも相俟って、ここ数年間は年々下落を続けている。一部で新設住宅着工数の増加が見 40 --<- 目標 込めるものの. 依然として厳しい状況である。 実績値の ・特用林産物産出額(41.1億円)については、岩手・宮城内陸地震で落ち込んだ生産量 分析 が、ここ数年で徐々に回復してきているものの、平成22年は全国的な価格の低下もあり、再 20 - 実績 び減少傾向に転じている。

0

H19

H22

H23

H24

H25

・林業(木材)産出額(H22)→全国平均41.4億円,岩手県129億円,山形県27億円,福島

・林業(特産)産出額(H22)→全国平均47.7億円,岩手県77.4億円,山形県54.1億円,福

全国平均值

や近隣他県

等との比較

県 73億円

島県51.3億円

目標	指標等名(下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26		
原白ッ	やぎ材の出荷量(m³)	指標測定年度	H20	H22	H23	H24	H25	26000	
7 医皮外	でる例の出何里(III)	目標値(a)	-	21,000	22,000	24,000	25,000		
	やぎ材(品質規格基準	実績値(b)	22,900	21,060	_	-	-	25000	├
適合製	材品)出荷量	達成(進捗)率(b)/(a)	-	100%	-	-	-		
	長興課調査]	達成度	-	Α	-	-	-	24000	├
目標値の 設定根拠	・住宅建築に対する消が求められているが、」 低位な状況にある。こ ランド化を推進し、生産	県内での人工乾燥のため、県産材を規	材をはじめ 見格化され	とする高さ た品質の	品質材の生 高い「優良	E産・流通 みやぎ材	は極めて 「」としてブ	23000	- /
	製材品の生産等の促進 標指標として設定した。			, -				22000	
実績値の	・本県における新設住 た。(H21:11,495戸→) (H21:19,300㎡→H22	H22:12,714戸)それ	れに伴い,	「優良みや	やぎ材」のと	出荷量も増	動加し,	21000	
分析	けに「優良みやぎ材」の 度が向上しているもの。)活用を積極的にF						20000	◇ 目標
全国平均値 や近隣他県 等との比較	品であり、比較は困難	製品について. 規						19000	H20 H22 H23 H24 H25
目標	指標等名(下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26		
海業生	産額(億円)	指標測定年度	H19	H21	H22	H23	H24	900 _	
8	/王48(124) 1/	目標値(a)	-	791	809	81	405	800	
	漁業生産額(海面漁	実績値(b)	808	791	-	-	-		
	直業生産額) 宮城農林水産統計	達成(進捗)率(b)/(a)	_	_	-	-	-	700	•
山典:		達成度	_	В	_	_	_	600	
目標値の 設定根拠	・「水産業の振興に関 16年6月策定(平成21: 965億円と設定していが ・しかし震災により甚大 水産業復興プラン」に ・目標値はH19〜H21: を, H23〜H25の数値 もの	年3月変更),目標学た。 た。 けな被害が発生した 基づき,目標値を45 の数値は実績値を,	年次:平成 ため,「宮 86億円(H2 H22の数	25年)にま 城県震災? 25)に再設 値は見込。	らいて,平) 復興基本記 定した。 みとしてH1	成25年目村 十画」及び 19~H21の	漂値を, 「宮城県)平均値	500 - 400 - 300 -	486
実績値の 分析	・H21年の漁業生産量 減少した。資源の状況 よって,生産額が減少	等による漁獲量の したものと分析され	減少や, 魚 る。	価安等の	本県水産	業を取り着	冬く状況に	200	◇ 目標
全国平均値 や近隣他県 等との比較	DEXT 1 1121 113,102 E			こ伴い(前	年比▲2.9	%),H20年	₹16,279	0 L	H19 H21 H22 H23 H24 H25

	目標指標等	名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26						
	主要5漁港(気仙		指標測定年度	H20	H22	H23	H24	H25	800				\	
	女川·石巻·塩釜 揚金額(億円))における水	目標値(a)	-	602	181	301	361		_		\	目	[
9			実績値(b)	716	602	-	-	-	700	-			一 実	績
	水揚統計(水産) 香)	業振興課調	達成(進捗)率(b)/(a)	_	_	-	-	-	600		\			
	 /		達成度	_	В	_	_	_			Ţ			
			本計画」及び「宮城						500		- \			
l ⊟≭			፟ と集積拠点漁港(主 ・統計から県内水揚						400		\			
	→ 坦 加 漁業生産	を額を目標指標 とは1900 1900	票とした。(主要5漁 は実測値を, H23以	港:気仙沼	引,志津川	,女川,石	巻,塩釜)) 三十本之	400		į			۰
		/JH20~H22/ 設定した。	よ夫側値を, H23以	解は展火	かり(午仮	に展火制	の状況を見	天り与ん	300	_	\	1		
	•H99年	の主要5海港	こおける水揚量(31	8 719 ¹ .) <i>t</i>	十前年.比1	6% (5 - ±+)	1色加1 対	鱼举生产				1		
実統			比13.7%(73円)増力		⊅ β1] Ţ Σ	0%(0 1)	» _Б /лгС, 1/	····未上/生	200			*		
5	分析								100					
	平均値								0			1		
	隣他県 の比較									H20	H22	H23	H24	H25
٠, ر		_												
	目標指標等	名(下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26						
	水産加工品出荷	額(億円)	指標測定年度	H19	H21	H22	H23	H24	3000				> 目	ᇩᅴ
10			目標値(a)	_	2,754	2,803	420	841			-	\		175
			実績値(b)	2,817	2,754	_	_	_	2500			<u> </u>	 実	績
	工業統計調査		達成(進捗)率(b)/(a)	-		_	-	_				`		
	.[*x	との 振朗 に 間・	達成度 する基本的な計画(カカギ海	B	目 已 冬 昼	一 甘未补而)	- (元氏	2000			1		
			9 公基本的な計画(年3月変更),目標 ⁹									į		
 		円と設定してい	ヽた。 な被害が発生した	たみ 「宀」	☆旧雪 巛	海明甘土	上面・及った	「合体用	1500			1	1	402
	0/4 0/3		.な被告が先生した 基づき, 目標値を1,				T 画] 及 U	「呂城宗	1000			١		
		22 - 11	実績値を, H22の数 57年後に震災前の2					≿, H23∼	1000			i		<i>'</i>
							-		1000			1	S	
	・H21年の水産加工品出荷額(億円)における出荷額(2,754億円)は前年比3%(83億円)							3億円)減				i		
宝幺	·	の水産加工品	田间飯(応口)(〜4〜							1		•	•	
	責値の 少した。	の水産加工品	四间板(応口)(C40						500			→	<u>, </u>	
	·	の水産加工品	四刊報(応刊77€42						500			\$, .	
3	責値の かした。 分析 ・H21年	の全国の水産	加工品出荷額は29	,603億円 [°]	であり, H2	20年30,882	2億円と比	べて,	500 0			\$		1
全国や近	責値の かした。 分析 ・H21年		加工品出荷額は29	,603億円 [、]	であり, H2	20年30,882	2億円と比	べて,		H19	H21 H2	22 H23	H24	H25

評価対象年度

平成23年度

政策 3 施策 6

県民意	識調査結果						
	調査実施年度 (調査名称)			20年度 【民意識調査)		22年度 県民意識調査)	平成24年度 (平成25年県民意識調査)
	重 要	重視の	25.9%	65.0%	23.4%	61.7%	
	やや重要	割合	39.1%	00.0%	38.3%	01.770	
この施策	あまり重要:	ではない	12	2.2%	1	3.1%	
重視度	重要では	はない	3	.8%	c.	3.3%	
	わから	ない	19	.1%	2	1.9%	
	調査回答	音者数	1,	833	1	,933	
	満 足	満足の	6.7% 39.8%		5.6%	36.4%	
	やや満足	割合	33.1%	39.0%	30.8%	30.4%	
この施策	ややオ	下満	20	0.3%	2	1.5%	
満足度	不清	苘	6	.7%	Ę	5.7%	
	わから	ない	33	5.2%	3	6.4%	
	調査回答	音者数	1,	813	1	,908	
	周査結果につい	いて	いことがうかがえ ・満足度につい [~]	る。 ては, 「満足」の割 ₁	合が40%弱で推	移しており, やや低	対する県民の期待がある程度高はめに出ている。中でも「わからなに周知に努める必要がある。

政策 3

施策 6

宮	城0	り将来ビジョン	推進事業									
番号		事 業 名	平成23年度 決算(見込) 額(千円)				事業	美の状況	兄			
		担当部局•課室名	特記事項									
		•			事業概					年度の実施		•
1		†王国みやぎの「食」 ンド化推進プログラ ፣業	13,013		ブランド化を推 を旗印に「食 を目指す。			営及び ・民間企 ジェクト ・「食材	第5回大会を 業との連携 等を実施し, 王国みやぎ	推進パート を開催した。 として, キリ 県産食材の JHPの活用 (小を設置し)	ン社との連打 DPRを行った , みやぎのこ	携MKプロ ニ。
l '		曲北北立如	取組3 再掲		事業0	の分析結果			左丘	EDI(法) 答(E	ヨ゚ないをはんず	.ш.
		農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	干渉	を別決算(り	记込/領(丁	-F3)
	1	食産業振興課	震災復興 ※4④ ① 05 ※4④ ② 02	妥当	成果があった	概ね効率的	維	夺	H22 2,546	H23	H24 -	H25 -
			※ 4 ④❸ 01		事業概	L 班要			平成233	L 年度の実別	L 版状況•成᠑	.
2	宮城事業	找米産地強化対策 \$	735	アップすると	米や環境保全ともに直播栽場の農業者が名	全米の取組を 培の推進や有	望品種	保全米	く全米の栽培 県民会議」と 「播栽培の抽	高度化に「企連携した活法大に向け,	句け, 「みや 動を行った	ぎの環境
		農林水産部		事業の分析結果					在由	:ш)		
	2	辰 怀 小连叩		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	+13	を別決算(§	七处/領(丁	- F3 /
	_	農産園芸環境課		妥当	ある程度 成果があっ	概ね効率的	維持	诗	H22	H23	H24	H25
					<u>た</u> 事業相				2,642	735 年度の実施	-	-
3		oぎの優良肉用牛生 長興対策事業	166,881		と経営基盤強 肉用牛生産の				- 「豊北茂」 <i>0</i> - 指導66件			
		# 11 1 + +=			事業の	の分析結果						
	_	農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	年度	医別決算(5	見込)額(干	円)
	3	畜産課		妥当	成果があっ	効率的	維持	选	H22	H23	H24	H25
		苗座床		女日	た	沙岩山	不压1	14	185,764	166,881	-	-
				H. SE - J 1	事業相		1. [++ />	ب بالدح		年度の実施		果
4		>ぎの茂洋普及拡大 ≛事業	19,500	げ)洋(ひろ)」	もに優れた本 号の産子の県 体づくりを推進	ト内保留を支				数 39経営信 質数 390頭		
		農林水産部			事業の	の分析結果			左阜	₹別決算(§	ヨン入 \ 夕 西 / ゴ	
	4	辰 怀 小准部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	干渉	·加沃异(5	记込/領(丁	-F3)
	4	畜産課		妥当	成果があっ	効率的	拡	充	H22	H23	H24	H25
		[た	W 755			<u> </u>	19,500		=
5	みや 策事	Pぎのきのこ振興対 ≸業	3,612	の「みやぎの	事業権 であるハタケ きのこ」の安定 発等を行い、± る。	シメジ, ムラサ 定生産, 安定(供給のた	人参加)	/メジ栽培研)	年度の実施 修会の開催 ケシメジ・ムラサ アンター)	(19回開催	, 延べ110
		農林水産部			事業の	の分析結果			年 庄	を別決算(5	 入) 好 <i>(</i> エ	—————————————————————————————————————
	5			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性		1	1	
		林業振興課		妥当	成果があっ た	効率的	維持	恃	H22	H23	H24	H25
					/_				3,872	3,612	_	_

					事業相	要 要			平成23:	年度の実施	布状況•成」	果		
				事業概要 平成23年度の実施状況・成男 園芸産地の構造改革を進め、競争力を強化する ・みやぎ園芸特産振興プランの目標達成にとともに、水田における園芸振興や加工・業務用を含む新たな生産・販売戦略の展開、宮城ブラ により被害を受けた園芸産地の復興に向け										
		長振興戦略総合対		とともに,水目	田における園	芸振興や加工	-業務用	修会, 玛	見地実証等を	を行った。併	fせて「東日	本大震災」		
	策事	業	5,516	を含む新たたンドの確立.	は生産・販売単食の安全安心	攻略の展開,語 いの確保等の1	B城フフ ほか, 震		(害を受けた 各技術の展え			に併修		
6				災による被害	手状況を踏まれ	た技術対策	等の支援	, 1×1		. 5.2 214	· =0			
6				を行い、園芸	品目産出額の		0							
		農林水産部		①必要性	事業の ②有効性	の分析結果 ③効率性	次年度の	7.七户州	年度	医別決算()	見込)額(刊	一円)		
	7			①必安!エ	ある程度		7112	//J IPJ IX	H22	H23	H24	H25		
		農産園芸環境課		妥当	成果があっ	概ね効率的	維持	持	5,746	5,516				
		l .			<u>た</u> 事業概	L 既要				<i>'</i>		L 果		
					織の実践プラ	ンの策定,園			平成23年度の実施状況・成果 営農の法人化や継続的な経営発展のための課					
		営農ステップアップ			物導入や農産									
	支援	等	0	し、任呂左登 た,担い手不	を 住地域におい	ハて地域農業	□囚つ。ま の仕組		/ターが試験研究機関と連携して集中的な技営支援を行った。(予算化はなし)					
7				みづくりを支										
			取組11 再掲		事業(D分析結果		<u> </u>						
		農林水産部	- Nevigari 1.110		②有効性	3効率性	次年度の	方向性	年度	医別決算()	見込)額(升	-円)		
	8	th alk les cos em		love 3 > ta	ある程度				H22	H23	H24	H25		
		農業振興課		概ね妥当 成果があっ - 拡充 た - -					6,733	0	-	-		
				事業概要							を状況・成!			
					の解消や発生		12 1 1 1 7 12			う,市町村の				
	耕作	■放棄地対策事業	<u> </u>	作放棄地対	やモデル的な 策を推進する		などの耕)とともに,幇 り耕作放棄:		対策リーフレ 進した。	ツトを作成		
			209					-						
8														
		農林水産部			事業の	 の分析結果			左阜	F则选管/1	目は入り宛して			
	9	灰怀小庄叫		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	年度別決算(見込)額(千円) 生			17/		
	,	農業振興課		妥当	ある程度成果があっ	概ね効率的	拡:	充	H22	H23	H24	H25		
		100 7 V HAL		~ ¬	た		1/24.		1,210	209				
				中電光ー	事業根		L=+.#	. #			を状況・成場	-		
					ズに対応した。 する体制を整						ともに, 麦類 科に活用した			
		路率向上に向けた			上を目指すと	,		なお, 東	日本大震災		より,作付面			
	麦٠	大豆生産拡大事業	913	地位の確立	・強化するため を推進する。	フ,ノフント化)	に回り た	積は減	かし に。					
9														
9														
		曲井水辛如			事業の	の分析結果			<i>F</i> - →		= '1 \ ** / **	.ш.)		
	10	農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の)方向性	牛皮	· 加伏昇()	見込)額(千	- i i j		
	10	農産園芸環境課		妥当	ある程度 成果があっ	効率的	維	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	H22	H23	H24	H25		
		灰压四五环况环		д Э	た		小庄1	· J	1,423	913				
				旧マル~ソ・・	事業概			44 11 3			布状況・成 ∮	•		
	- u	ᄽᆥᅭᅷᆛᆕᇊ			粉及び県産米 と図るため,宮						間とし,キャン て宮城こめ			
		粉普及拡大プロ クト事業	6 120	たどの宝施に	て上い 消費者	に対し乗及ほ	動を行う	見市を	開催した。さ	らに, 商談:	会に参加し,			
			5,120						の販路拡大	を凶った。				
10				内外の食品企業に対して新商品の開発や小麦 粉の代替として米粉の導入を促進していく。										
		農林水産部	取組7 再掲	再掲 事業の分析結果			年 佳		見込)額(チ	———— - 円)				
	11	ACTIVIVE HIP		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	7-13	-MM M ()	/した二/ 1只 \	1 3/		
• '		I	<i>= ,,,,,</i> = ,,,,	Ī	ある程度	Н22 Н23 Н24								
		農林水産政策室	震災復興 4④ ②	妥当	成果があっ	概ね効率的	維持	持	H22	H23	H24	H25		

			<u> </u>		事業概	既要			平成23	年度の実施	拖状況•成∮	果			
11	飼料援事	価格高騰対策支 業	648	大を促する。	確保や食品残 生産性の向上 の安定化を推	-による低コス 推進する。		・飼料価 ・飼料用 ・稲WCS (171hab	「格高騰に関 日イネ展示ほ S作付け面和	員する相談系 ○2ほ場設置 責H22 1,191	ha→H23 1,	炎件数2件			
		農林水産部				D分析結果			年度	別決算(馬	見込)額(千	-円)			
	12	AZ II VIVAL AII		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性			1	T			
		畜産課		妥当	ある程度 成果があっ	効率的	廃.	止	H22	H23	H24	H25			
					た	T. T.		I	4,481	648		=			
				高い企業マ	事業 相 インドを有する		者を育成	小益財	平成23年度の実施状況・成果 財団法人みやぎ産業振興機構アグリビジネス支						
12		けででリビジネス 推進事業	27,232	するとともに, を行いアグリ からの参入る 推進し,競争 組む担い手(さらに,農産	ソフト・ハード ビジネスを促き ・力のある大規 の育成を加速 物の直売や農 成を推進する。	ド事業の総合的 進する。また, 農へのビジネ 見模施設園芸 化する。 と と 産加工に携	的な支援 異業種 ス支援を 等に取り	援室と選正常化。 ネス展開 ・年間販 は,震災	基携し, アグ とあわせて, 見を実現する 〔売金額1億	リビジネスに 震災の影響 るための支掠 たりい上のア こおいて, 平	取り組む経 を克服し、 愛を行った。 グリビジネス 成23年度に	営の事業 新たなビジ			
		農林水産部			事業0	D分析結果			在由	F则选管/F	見込)額(千				
	13	辰怀小连印		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	+15	とか、大昇()	也之/領(丁	- [] <i>)</i>			
	'	農産園芸環境課		妥当	成果があっ	効率的	維	持	H22	H23	H24	H25			
					た - ************************************	,,,,,,		1	86,913 27,232 平成23年度の実施状況・成果						
13	森林育成事業		469,951	産業の維持・のかん養, 県	事業根 定供給と森林 ・復興及び地球 と土の保全なと とめ、搬出間付 を接する。	整備の推進に 球温暖化防止 ご森林の多面	ンや水源 的機能の	中断して 伴い完った。 ・民有材)影響から, i ていたH22事 了したこと等 、間伐面積[H23事業は 事業が, サプ から, 活動! 年間]	実施が遅れ ライチェーン 指標が目標	たものの, /の回復に 値を上回っ			
13					事業0	D分析結果		,	,089ha(H22)→6,500ha(目標値5,600ha)						
	14	農林水産部	取組29に再 掲	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	年度	を別 決 算(り	見込)額(千	-円)			
		森林整備課	震災復興	妥当	成果があっ	効率的	維	掛	H22	H23	H24	H25			
		林竹莊 脯 杯	4 20	д п	た	が十円	小庄 :	i v	459,315	469,951	-	_			
				示/// > 1.10 [事業根		1 .5 -1	一世人八			b状況•成績	-			
14	温暖事業	化防止間伐推進	363,783	により、林業維持が難しく による雇用確	材の主要な需事業体におけなっていること なっていること を保と産業の網 いとした間伐を	る事業確保ペ とから,森林虫 性持・振興を図	や雇用の を備事業	の実施いだ。 だ。 なお, 無 できたか ・当該事	こより, 温暖 変災の影響が、実施は相 ず、実による間	化防止と雇いら事業が退当数をH24 伐実施面積	静林を中心。 用確保等に 遅れ,事業賃 に繰越すこ ₹ 3)(目標値1	取り組ん 所は確保 ととなった。			
		#11.1	取組27 再掲		事業0	の分析結果		7. (011							
	15	農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の)方向性	年度	と別 決算(5	見込)額(千	-円)			
	15	森林整備課	震災復興 1③ ②	妥当	ある程度 成果があっ た	効率的	維	诗	H22 -	H23 363,783	H24 –	H25 –			
					事業根	既要			平成23	年度の実施		果			
15	新し	い植林対策事業	11,400	震災により被害を受けた地域の県民生活保全や・花籽 2次災害の未然防止を図るため、被災森林や上 流域の造林未済地等に花粉の少ないスギ等の 植栽を進め、森林の公益的機能の向上を図る。・ミスト				総合セン 棟)を整 ・ミストハ	ノター内に打	重し木苗生産	産するため 雀用のミスト				
			取組27 再掲		事業0	D分析結果	₹		年度別決算(見込)額(千円)						
				①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性											
	16	農林水産部森林整備課	震災復興						牛 序 H22	と別次昇(5 H23	え <u>込</u>) 額(す H24	H25			

					事業概						拖状況·成身	-
16	県有	林経営事業	495,276	による持続可	E的な林産事員 「能な県有林紀 ・木材産業の打	経営を進める	とともに,	払を進る 木材流 は達した ・立木売	めようとしただ 通が一時停 なかった。 5払量28,010	が,東日本力 滞したため, 6m3(目標値	上め、計画的 、震災の影響 活動指標が 直40,000m3) 1値93,000千	響を受け, バ目標値に
		# 11 1			事業の	の分析結果		Į	<i>f</i> - ri		= \1 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	· III \
	17	農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度0	D方向性	牛皮	を別 決昇()	見込)額(千	·H)
	' /	森林整備課		妥当	ある程度 成果があっ	効率的	維	持	H22	H23	H24	H25
		MAN IN TE MINDS		Д —	た		7/12		538,559	495,276	-	-
				× b +~++	事業相		수수 나나 작는	46n. 1 1 1 D.			色状況・成 身	
17		バイオマス利活用 対策事業	6,254	材)を搬出し 進することで	川用だった木質 , 木質資源の , 再生産可能 ムの構築を促込	総合的な利益 な循環型資源	舌用を推	・ストック・木質/※ 大震度実績	マヤードの整 ドイオマスの 「災に伴う被	搬出(4,011 災工場の受	lom) 2/9,600m2 m3/2,400m 入休止等で i分の利活用	n3) 平成23年
			取組27 再掲		事業(D分析結果						
		農林水産部	1314		②有効性	3効率性	次年度0	D方向性	年度	医別決算(5	見込)額(千	円)
	18	┴┴ ╨ ╀드 (D) = H		+urr 3o ≈ VV	ある程度	hur lo 취 공사	₩	.1	H22	H23	H24	H25
		林業振興課		概ね妥当	成果があっ た	概ね効率的	廃.	IE.	2,815	6,254	-	-
					事業 概 吸収量の視覚						拖状況・成 ∮ ∷1件(県有	•
	森林進事	吸収オフセット推 業				ット・クレジット		※ 震災	発生により、	事業の開始	::1件(162 台が大幅に過 まで完了する	星れたもの
		農林水産部	取組27 再掲		事業の	D分析結果			年 章	明決質(目	見込)額(千	一円)
	20	及刊·八庄山		①必要性	②有効性	③効率性	次年度0	D方向性	+13	·		1 17
		林業振興課		妥当	ある程度 成果があっ	概ね効率的	維	持	H22	H23	H24	H25
					<u>た</u> 事業相	I III			マ 世 0 2 4	3,469		=
		良みやぎ材」普及拡 策事業	1,300	上を図り,県 に 木材関連	が が対」の一層の 産材のブラン 連産業の活性	需要拡大と認 ド化を推進す		・みやき※ 業務	「材利用セン 「材普及パン 「内容を見直	ッター活動強 ・フレットのか し、縮小した	を実施した。 を 実施した。	年) 4,200部) 係機関と連
19					الحاد ا	- 1. I. (4. III			1			
		農林水産部	取組7,取組11	@ *: · ·		の分析結果			年度	医別決算(見込)額(千	一円)
	21		に再掲	①必要性	②有効性	③効率性	次年度0	力方向性		1	1	
		林業振興課		妥当	ある程度 成果があっ	概ね効率的	拡	充	H22	H23	H24	H25
					た事業権	平更			亚成23	1,300 年度の実施		 E
20	及促:	材利用エコ住宅普 進事業	51,881	利用拡大を図り、林業・木材産業等の活性化を 促進するとともに、効果的な二酸化炭素の固定 により、地球温暖化防止に貢献する。 割の9					を援(118件, の影響など 漬であった/	県産材使用で、募集件	月量約2千m 数200件に対 なび優良みや	3) けして, 約6
		農林水産部	取組27 再掲		事業の	の分析結果			左□	F则法管/F	ヨンストをおんず	
	23	辰 怀 小准部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度0	D方向性	平尽	2加沃昇(5	見込)額(千 	- Fig /
	20	林業振興課	震災復興 ※1① ② 03	妥当	成果があっ た	効率的	拡	充	H22 -	H23 51,881	H24 -	H25 -
	•											

					事業根	 玩要			平成23	年度の実施	拖状況・成 ∮	果
21	進支	沿漁業構造改革促 反援事業(儲かる漁 急業創出支援事業)	180	るため,産地のなど、漁獲は	収益性向上や 市場や流通が 操業方法から 革を支援する。	加工業関係者 販売方法に3	との連携	営体数	は増えなか~ 【プロジェク】	ったが、震災	受置及び改享 そからの復興 経営体の改享	を見据え
2 1					事業の	D分析結果		<u> </u>			7 17 1 47 /	
	24	農林水産部	取組11に再 掲	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の)方向性	年度	·加汉算(5	見込)額(千	-円)
		水産業振興課		妥当	ある程度 成果があっ	効率的	維	持	H22 2,644	H23 180	H24 _	H25 _
		1			<u>た</u> 事業根	 玩要					 拖状況・成身	果
22		€都市活力強化対 5援事業	13,482	する。また, フ	の高度化を図 k産加工品の 友援を行い,オ	商品開発や則	反売力強	が,水産	E加工業支 担	爰事業活用:	支援事業は 推進コーデル 青の指導・支	ィネーター
		# 11. 1. * * * * * * * * * * * * * * * * * * *			事業0	D分析結果			<i>_</i>		= 1 3 \ dx / ~	
	25	農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の)方向性		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	見込)額(千 	
		水産業振興課		妥当	成果があっ た	概ね効率的	維	持	H22 11,779	H23 13,482	H24 -	H25 -
					事業根				平成23	年度の実施		果
23	養殖 業	も振興プラン推進事	4,358	い安全な生産 握による種苗	振興プランに。 室物の供給や i確保のための 等を図る。	漁場環境の近	箇正な把	情報提	供,技術指導	尊を行った。	魚場調査結り , ワカメ12報	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
		農林水産部		@ N-TH		D分析結果		1 14	年度	E別決算(§	見込)額(千	一円)
	27	水産業基盤整備		①必要性	②有効性 成果があっ	3 効率性	次年度の		H22	H23	H24	H25
		課		妥当	た	効率的	拡	允	-	4,358	-	-
					事業概						拖状況・成身	
24	養殖 業	直施設整備促進事	350	モデルを提示	こ対応した災! デすることによ 経営安定化を	り,施設整備		施設のの補助	早期復旧を 事業導入の	図るため, 湧 指導への事	になったこと 対甚災害法に 業見直しを 作数2,230년	工基づく国 行った。
		農林水産部		0		D分析結果			年度	医別決算(身	見込)額(千	一円)
	28	水産業基盤整備		①必要性	②有効性 ある程度	3効率性	次年度の		H22	H23	H24	H25
		課		概ね妥当	成果があった	概ね効率的	廃	止	-	350	-	-
		•			事業根				平成23	年度の実施	- 拖状況•成身	果
25		る工連携加速化推 『ロジェクト事業	2,600	め,食品製造 生産者に関 需要拡大に 品開発支援,	迷する経済活 を企業に対する する情報提供 向けた生産者 マッチングセ 言者とのマッチ	る県産農林水や県産農林ス と実需者との ミナーの開催 ングを支援す	産物や k産物の 連携や商 を通じて	や,新商 催等に ・試作品 ・マッチ	雨品開発支持 取組んだ。 場件等商品 ング機会の	爰, 連携を推 品開発支援	商談会出展	ナーの開
		農林水産部	取組3に再掲	①必要性	事業の	D分析結果 ③効率性	次年度の)方向性	年度	医別決算(5	見込)額(千	円)
	30	農林水産政策室	震災復興	概ね妥当	ある程度	概ね効率的			H22	H23	H24	H25
		1	446		<u>た</u> 事業根	要			4,189 平成23	2,600 年度の宝装		
26		る工連携「米」商品 ミプロジェクト事業	350	食品関連事業をお価値を創	る「東北194号 業者等と農商 川出し,ブラン と行う。	・」について, 2 工連携に取り ド力を持つ「鬼	組み,新	称)商品参加团 民間企	94号のイメ 開発プロジ 体:13団体 業1)作付面	ージ形成の ェクト」を実 等(JA5, 生	ため「東北1 施した。 産者6, NP	94号(仮
		農林水産部	売 如の2マデリ	1.23 ≖ ±±		D分析結果 ②執衷性	加左步。	√ + ← τα	年度	医別決算(見	見込)額(千	一円)
	31	食産業振興課	取組3に再掲震災復興	① 必要性 妥当	②有効性 成果があっ	③効率性 効率的	次年度の		H22	H23	H24	H25
			444	<i>></i> , ¬	た		70-		1,500	350	-	-

					事業概	既要			平成23:	年度の実施	拖状況・成 ៎	果
	食品 ジェ [・]	も製造業振興プロ クト	6,788	し、付加価値	者と加工・流通 近が高く消費者 りや販路開拓	ゲニーズに的研		大を目打		等による商品 €業クラスタ・ た。		
27			取組3 再掲		事業(D分析結果		<u> </u>				
		農林水産部	цх <u>ин</u> 3 <u>тэга</u>	①必要性	②有効性	3効率性	次年度の)方向性	年度	医別決算()	見込)額(刊	-円)
	32		震災復興		成果があっ				H22	H23	H24	H25
		食産業振興課	※4④②07 ※4④③03 ※4④⑤06	妥当	放来があり	概ね効率的	維	持	7,691	6,788	_	_
				地巛土の町	事業根		山ヶ垢が	· ニッし		年度の実施 ージ開発等		
00		€農林水産物等輸 ≧進事業	2,636	組む県内の原の上、宮城県	路拡大を支援 農林漁業者や 県食品輸出促 物等の輸出促	食品製造業	者と協働		朝山, ハツク 額674千円)		f(LX) 9 の又	.按(3件,
28					 事業 <i>0</i>	の分析結果		<u> </u>				
	33	農林水産部	取組3,取組8 に再掲	①必要性	②有効性	3効率性	次年度0)方向性	年度	医別決算()	見込)額(T	-円)
		食産業振興課	震災復興	妥当	ある程度 成果があっ	効率的	維	持	H22	H23	H24	H25
			442		<u>た</u> 事業概	【 既要			7,029 平成23 :	2,636 年度の実が		 果
29		プジアとの経済交流 『事業 	619	業との経済を	経済成長の中。 交流を促進す≀	పే.	と本県企	が, (独 を受け, るととも 風評被 広州交)日本貿易技 県内企業を こ,県自ら震 害の払拭を 易会 参加:	虫での商談: 振興機構(ミ と中国での原 変災からの県 図った。 企業4社 企業12社	ジェトロ)の特 展示商談会は よの復興状況 成約件数1	別な支援 こ参加させ RをPRし,
		経済商工観光部	取組8 再掲	○ × = 44		の分析結果	14 + # a	\ 	年度	を別 決 算(5	見込)額(刊	-円)
	34	海外ビジネス支援		①必要性	②有効性 成果があっ	3効率性	次年度の		H22	H23	H24	H25
		室		妥当	た	効率的	維	持	4,851	619	-	-
30	農林業	水産金融対策事	2,210,868	組む場合に、 負担軽減を 取り組む。	事業机 者が経営改善 必要な資金に 図り,経営の多	や規模拡大のいて,円滑	な融通と	利子の・融資機・保証機	を説明会等 補給(80,9 機関への預調	モ(2,109,04 6出えん等(0回) 4千円)	果
		農林水産部	取組11 再掲			の分析結果	1.,	- 1 - 1 1	年度	医別決算(5	見込)額(円	-円)
	35	農林水産経営支		①必要性	②有効性 ある程度	3効率性	次年度の		H22	H23	H24	H25
L		接課		妥当	成果があっ た	概ね効率的	維	持 	1,311,734			
31	農道	直整備事業	1,072,092	などの農業が	事業相 通や農村集落 を設を連絡する	と農地や集出		•農道整	が事業完了	推進するため		
	20	農林水産部		①必要性	事業 <i>0</i> ②有効性	D分析結果 ③効率性	次年度0)方向性	年度	医別決算(5	—— 見込)額(Ŧ	一円)
	36	農村整備課		妥当	成果があっ た	効率的	維	持	H22 455,574	H23 1,072,092	H24 -	H25 -
	決算	(見込)額計	4,962,016						· · · · ·		•	•
決算	(見)	込)額計(再掲分除き)	2,287,821									
Ь—				L								

政策 3

施策 6

取	組に	関連	重する宮	城県震災征	复興推進	事業							
番号		•	差 名	平成23年度 決算(見込) 額(千円)				事業	美の状況	兄			
		担当部	『局・課室名	特記事項									
					津波により発	事業相当生産		等の木質	移動式		年度の実施 幾の整備(4 ²		果
1		がれき 用促進	等バイオマ 事業	289,000	がれきの早期	別処理や, 木質), 木材チップ 燃料製造施設	質バイオマスの 集積・製造拠	の有効活	・固定式 ・関連機 ※津波	た木材破砕板 機械等の整備	幾の整備(1 ² 備(2社・2台 ける木質が	社·1台))	や破砕作
		# 11 1		取組27 再掲		事業の	D分析結果			<i>f</i> - ri	- Dulin Ar / E	3 \	· ш \
	1	農林水	(産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	年	を別決算(身)	己込)額(十	-H)
		林業振	興課	震災復興	妥当	ある程度 成果があっ	効率的	維	持	H22	H23	H24	H25
				120		た = ************************************	T ===				289,000		-
					電巛テトル本			7 0 44 tt	. 名口 4		年度の実施 413,000h		
2	東日旧事		:災災害復	10,750,969	要当 ある程度 成果があった 効率的 維持 た 事業概要 震災により著しく損なわれた農業生産力の維持・ 向上を図るため、農地・農業用施設等の復旧工 事を実施することにより、生産基盤の早期回復を 図る。					た69箇所の排水機場	では、000m の排水機場の 場を稼働した 復旧事業を	ァッカー Dうち応急エ 。	事等により
		農林水	产 部			事業0	D分析結果			年 佳	医別決算(身	■认)額(壬	-四)
	2	ינייונאל	/王巾		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	+13	とかのチ (2		1 17
		農村振 農村整		震災復興 4① ❶	妥当		効率的	維持	恃	H22	H23	H24	H25
		JZ 171E	. 1010 14215	400			耳曲			立はなる	T ^{10,750,969} 年度の実施		= =
3		用共同 復旧事	利用施設 業	15,216				業用共					
		農林水	产如			事業0	D分析結果			在 成	医別決算(身	ヨンス) 夕石 (エ	:ш)
	4	辰怀小	(生印)		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	平局	· 加沃异(5	记込/領(丁	-F3)
	7	農林水 援課	達経営支	震災復興 4① ❶	妥当		効率的	廃	止	H22 _	H23 15,216	H24	H25
		322		400		<u> </u>	耳曲			<u> </u>	<u> </u>		
4		本大震 策事業	災農業生	4,268,436		事業の)早期再生の7 扁整備,農業核	こめ,被災した		開に必	川用施設の復	复旧及び再約 の導入を支	編整備の他,	-
		農林水	产部			事業0	D分析結果			午日	別決算(見		円)
	5	应作小	/在山		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	+13	2加入升 ()		1 1/
		農産園 畜産課	芸環境課, !	震災復興	妥当	成果があった	概ね効率的	維	持	H22	H23	H24	H25
_		田庄环	•	411			4 亜			平成のの	4,268,436 年度の実施	5. 1. 1.	_
5			急避難輸 対策事業	2,564	困難となった ことが困難と を維持するた	イフラインの後 生産者や被災なった生産者 なった生産者 ため、震災家畜 け入れ先の飼	金絶により家 後家畜を継続 を救済し、農 香の避難に要 養管理経費。	飼養する 業生産力 する輸送		平成23 ≅績113頭 ≿額2, 564 ⁻		51\NL 1 X\5	Λ
		農林水	達部)分析結果	1		年度	医別決算(身	見込)額(チ	-円)
	6				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性				
		畜産課	ļ	震災復興 4① ❶	妥当	成果があっ た	効率的	廃	IŁ.	H22 -	H23 2,564	H24 -	H25 –

					事業根				平成23:	年度の実施	近状況•成∮	 果
6	被災 援事	≨農家経営再開支 §業	3,720,000	組合で行う農等の復旧に係	経営再開を支 &地復旧の取締 系る共同作業	組や, 園芸施	設, 畜舎	は,38後	興組合が記	没立され,除	塩·復旧作	業が行わ
					事業0	D分析結果						
	7	農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	年度	医別決算(見	見込)額(千 	- 円)
		農産園芸環境課	震災復興 4① ①	妥当	成果があっ た	効率的	維扎	寺	H22 _	H23 3,720,000	H24 _	H25 -
		<u> </u>			事業根	 既要			平成23:	年度の実施	近状況・成績	 果
7	地震事業	夏被災米穀等処理 美	146,258		水等の被害を について,市町 行う。		受けて廃	倉庫内の	の米穀や大を受けて行べ	より,浸水等 豆の廃棄物 ったもの。		
7					 事業 <i>0</i>	D分析結果						
	8	農林水産部	取組28に再 掲	①必要性	②有効性	3効率性	次年度の	方向性	年度	を別決 算(見	見込)額(千	-円)
	U	農産園芸環境課	震災復興	妥当	成果があっ	効率的	廃」	F	H22	H23	H24	H25
			411		た		, ,			146,258		-
				車日木七雲	事業 概 災及びその余		一死亡」た	• 生 阪		年度の実施 +93百92万/		-
8		《家畜円滑処理支 推進事業	19,300	を助成する。	かつ円滑処理		i du	図った。		协成し, 畜産	/K E (2) 1 J J	
		農林水産部			事業0	D分析結果	•		在成			
	9	辰 外 小性部	取組28に再	①必要性	⊘ +****						3 '1 \ pa / T	т П
			掲		②有効性	③効率性	次年度の	方向性	+15	を別決算(5	見込)額(千	一円)
		畜産課	掲 震災復興	妥当	必有効性 成果があっ た	③効率性 	次年度の 廃」		H22	技別決算(身 H23 19,300	見込)額(∓ H24 -	H25
		畜産課	掲		成果があっ	効率的			H22 -	H23	H24 -	H25 -
9		畜産課 養被災家畜処理円 と事業	掲 震災復興	妥当 震災により県 が死亡した場	成果があった	効率的 既要 家で飼育して)	廃」	Ŀ.	H22 - 平成23: 頭, 豚:350	H23 19,300	H24 - 5状況•成	H25 _ 果
9		【 《被災家畜処理円	揭 震災復興 4① ①	妥当 震災により県 が死亡した場 する。	成果があった 事業根 内の畜産農 場合の運搬・欠	効率的	廃」 いる家畜 いて補助	上 ・牛: 239 理を行っ	H22 - 平成23: 頭, 豚:350 った。	H23 19,300 年度の実施	H24 - 运状況·成: , 鶏:170,99	H25 - 果 91羽の処
9		₹ [被災家畜処理円 [本業	掲震災復興 4① 13,313	妥当 震災により県 が死亡した場	成果があった 事業机 内の畜産農 場合の運搬・欠 事業の 事業の	効率的 死要 家で飼育して 1理経費につ	廃」	上 ・牛: 239 理を行っ	H22 - 平成23: ^変 頭, 豚:350 った。	H23 19,300 年度の実施 頭,馬:1頭 医別決算(見	H24 - 近状況・成 , 鶏:170,99	H25 - 果 91羽の処
9	滑化	₹ [被災家畜処理円 [本業	揭 震災復興 4① ①	妥当 震災により県 が死亡した場 する。	成果があった 事業根 内の畜産農 場合の運搬・欠	効率的	廃」 いる家畜 いて補助	上 ・牛:239 理を行っ	H22 - 平成23: 頭, 豚:350 った。	H23 19,300 年度の実施 頭,馬:1頭	H24 - 运状況·成: , 鶏:170,99	H25 - 果 91羽の処
9	滑化	震被災家畜処理円 と事業 農林水産部	掲 震災復興 4① ① 13,313	妥当 震災により県 が死亡した場 する。 ①必要性 妥当	成果があった 事業根 内の畜産農 場合の運搬・欠 事業の ②有効性 成果があった 事業概	効率的 X要 家で飼育してい 2 2 2 3 3 が本性 効率的 X要	廃」 小る家畜 いて補助 次年度の 廃」	・牛:239 理を行っ 方向性 上	H22 - 平成23: 頭, 豚:350 た。 年度 H22 - 平成23:	H23 19,300 年度の実施 頭,馬:1頭 B別決算(見 H23 13,313 年度の実施	H24 - 远状況·成 , 鶏:170,99 已込)額(千 H24 - 远状況·成	H25 - 果 91羽の処 -円) H25 -
9	10	震被災家畜処理円 企事業 農林水産部 畜産課 3牛経営緊急支援	掲 震災復興 4① ① 13,313	妥当 震災により県 が死亡した場 する。 ①必要性 妥当 東京電力株: で,肉用牛の	成果があった 事業根内の正搬・欠事を 事業の ②有効性 成果があった 事福止指う 当過した肥育	効率的 X要 京で飼育してつ 分析結果 効率性 効率的 X要 不要 対 対 対 大要 大 大	廃」 ハる家畜 いて補助 次年度の 廃」 電所事故 とにより、	上 ・牛:239 理を行っ ・ 方向性 上	H22 - 平成23: 頭, 豚:350 た。 年度 H22 - 平成23:	H23 19,300 年度の実施 頭,馬:1頭 B別決算(見 H23 13,313 年度の実施 表績3,8473	H24 - 远状況·成 , 鶏:170,99 已込)額(千 H24 - 远状況·成	H25 - 果 91羽の処 -円) H25 -
	10 肉用	養被災家畜処理円 と事業 農林水産部 畜産課 日牛経営緊急支援	掲 震災復興 4①❶ 13,313 震災復興 4①❶	妥当 震災により県が死亡した場する。 ①必要性 妥当 東京電力株で、肉用牛の出帯金の経費を 替金の経費を	成果があった 事業根 内の運搬・欠 事を農 場合の運搬・欠 事業の でである。 事業の でである。 事業の でである。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	効率的 X要 京で飼育してつ 分析結果 効率性 効率的 X要 不要 対 対 対 大要 大 大	廃」 ハる家畜 いて補助 次年度の 廃」 電所事故 とにより、	上 ・牛:239 理を行っ ・ 方向性 上	H22 - 平成23: 頭, 豚:350 かた。 年度 H22 - 平成23: 援金交付質 額2, 791,	H23 19,300 年度の実施 頭,馬:1頭 H23 13,313 年度の実施 毛績3,8473 580千円	H24 - 近状況・成 , 鶏:170,99 記込)額(干 H24 - 近状況・成 頭	H25 - 果 91羽の処 - 円) H25 -
	10 肉用	震被災家畜処理円 企事業 農林水産部 畜産課 3牛経営緊急支援	掲 震災復興 4①❶ 13,313 震災復興 4①❶	妥当 震災により県 が死亡した場 する。 ①必要性 妥当 東京電用牛の 出荷適期を制	成果があった 事業根 内の運搬・欠 事を農 場合の運搬・欠 事業の でである。 事業の でである。 事業の でである。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	効率的 双要 京で飼育している の分析結果 ③効率性 効率的 双要 「一原子力発ニース・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア	廃」 ハる家畜 いて補助 次年度の 廃」 電所事故 とにより、	・牛:239 理を行っ 方向性 上 ・	H22 - 平成23: 頭, 豚:350 かた。 年度 H22 - 平成23: 援金交付質 額2, 791,	H23 19,300 年度の実施 頭,馬:1頭 B別決算(見 H23 13,313 年度の実施 表績3,8473	H24 - 近状況・成 , 鶏:170,99 記込)額(干 H24 - 近状況・成 頭	H25 - 果 91羽の処 - 円) H25 -

					事業根				平成23	年度の実施	拖状況•成∮	果
11	畜産旧事	試験研究災害復 業	26,726	の復旧を図る	対損した畜産討る。	【験場のヰ水	タンク等	・震災に 旧	こより破損した	た畜産試験	場のヰ水タン	ノク等の復
		農林水産部		①必要性	事業の	7分析結果 ③効率性	次年度 <i>σ</i>)方向性	年度	医別決算()	見込)額(升	-円)
	12	畜産課	震災復興 4① ❶	妥当	成果があった	効率的	廃		H22	H23	H24	H25
		l	100		事業根	L 玩要			 平成23:	,	▲ 拖状況・成!	果
12	地震 業	常被災飼料処理事	109,334	家畜飼料の	飼料保管施設 処理を行う。	は等においてん	腐敗した		巻市(石巻渚 釜市(塩釜渚		49,600m3 1,170m3	
					 事業 <i>0</i>	D分析結果		<u> </u>				
	40	農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	年度	を別決 算()	見込)額(升	-円)
	13	畜産課	震災復興 4① ①	妥当	成果があった	効率的	廃	止	H22	H23	H24	H25
			400		事業根	平更	_			109,334 年度の実施		
13	家畜整備	衛生施設・備品等 費	8,062	家畜伝染病	あった家畜保(予防事業及び かの検査機器	家畜衛生対	策事業を	振興部		びに東部家	地方振興事 を音保健衛生 行った。	
		農林水産部		①必要性	事業の	7分析結果 ③効率性	次年度 <i>の</i>	7十白州	年度	医別決算()	見込)額(升	一円)
	14	畜産課	震災復興	妥当	成果があった	効率性 効率的	廃.		H22	H23	H24	H25
			410			正曲			平式の2.4	8,062	 拖状況•成!	_ =
14		試験研究施設等 事業	27,731	な回復と今後を受けた農業	事 素似 生産力につい 後の発展を支え 養試験研究施	て,震災から えるため, 甚ナ	大な被害	100 400 40	た庁舎・施	没等19件の	也认沈・以: うち16件が役 年度に繰り起	复旧し使用
		曲北北东如			事業0	D分析結果			左曲		目 1 3 \ 数5 / 寸	.ш.)
	16	農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	方向性	干场	· 加沃异()	見込)額(千	-H)
		農業振興課	震災復興 4① ①	妥当	成果があっ た	効率的	廃	止	H22 -	H23 27,731	H24 _	H25 –
					事業根	 既要			平成23		▲ 拖状況·成!	 果
15		農地における早期 技術の開発事業	6,647	再開を図るた	変害を受けた産 とめ,津波被災 実態調査とこれ る。	&農地及び放	射性物質	成果とし 等の簡 おけるz	て普及技術 易分析法」,	51件「海水 参考資料1 のための代え	向けた研究の 流入土壌に 2件「津波被かき除塩のダ	おける塩素 災水田に
					事業0	D分析結果						
	17	農林水産部	取組12に再 掲	①必要性	②有効性	3効率性	次年度の)方向性	年度	を別決算(<u>)</u>	見込)額(Ŧ -	円)
		農業振興課	震災復興 4① ❶	妥当	成果があった	効率的	維	_ _	H22 -	H23 6,647	H24 -	H25 -
		1					1			L	1	

					事業根				平成234	年度の実施	拖状況•成∮	 果
	経営 援事	改善計画策定支 業	531		の事業再開及 び経営改善計			•支援経	怪営体数7件			
					事業0	D分析結果						
	19	農林水産部	取組11に再 掲	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の)方向性	年度	E別決算()	見込)額(千 	-円)
		農林水産経営支 援課	震災復興 4① ②	妥当	ある程度 成果があっ た	概ね効率的	維持	持	H22 -	H23 531	H24 -	H25 -
					事業根	要			平成23	年度の実施	拖状況・成 ∮	果
17	耕作事業	放棄地活用支援	0	棄地を活用し 揺する	美者や農業法 して営農を再開			農を再開	た農業者が開する取組に は国から直	こ対して支持		5用して営
		農林水産部			事業0	D分析結果			午由	F別決質(見込)額(升	<u>-</u> ==)
	20	及作外产品		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の)方向性	+ - - - - - -	とかい の 		1 1/
		農業振興課	震災復興	妥当	成果があった	_	維持	持	H22	H23	H24	H25
			412			耳曲			平成224	1 日本の宝は	 拖状況・成!	<u> </u>
		等施設整備支援 事業	18,108	を受けた生産 経営再建や	「舎が流出する 匿者が農業生」 新たな生産開 等を整備する	産力を維持す 始に必要なる ための経費を	⁻ るため, 家畜飼養		돌績7市町, 8 注額18, 108			
		農林水産部		⊕ » ≖ ₩		D分析結果	** ** **	\ 	年度	医別決算()	見込)額(千	-円)
	21	畜産課	震災復興	①必要性	②有効性 成果があっ	③効率性 効率的	次年度の		H22	H23	H24	H25
		苗生味	410	妥当	た	900年的	維持	14	-	18,108	-	_
		団体被災施設等 整備支援事業	76,965	甚大な被害	事業根 農業の再生を を受けた農業[をの再建を支払 強化を図る。	図るため, 震団体(協同組	合等)の	・補助対	平成23 4 计象:9団体	年度の実力	拖状況・成!	果
		## ## ## ## ##			事業0	D分析結果	T		左曲		므 ' 3 \ #5 / ㅠ	· m \
	22	農林水産部	取組12に再 掲	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の)方向性	牛及	[別决异()	見込)額(千	-H)
		農林水産経営支 援課	震災復興 4① ②	妥当	成果があった	効率的	維持	持	H22	H23 76,965	H24	H25 _
					事業根	 既要			平成234			<u> </u> 果
	農村業	地域復興支援事	4,965	るに当たり, : 実施計画の?	要害区域にお 地域ごとに新た 策定が必要と まえて実施計画	いては,農地 たな農業を可 なることから,	能とする 地域住民	•区画整	(調査, 基本	計画作成	1件(多賀城定に活用す	战市)
, ,					事業0	D分析結果			左曲		= <u></u>	
		農林水産部							土冶	加沃昇(見込)額(チ	-HJ)
	24	農林水産部	震災復興	①必要性	②有効性 成果があっ	③効率性	次年度の)方向性	平及 H22	H23	見込)額(† ┃ H24	-円) H25

					事業根	牙要			平成232	年度の宝装	拖状況・成 !	果
				甚大な津波	要害を受けた		美復興に	被災農			寸復興整備村	-
21	農地画事	復旧支援調査計 業	20,915	向けた基盤製	整備の方向を 査を行うととも 整備構想を作	検討するため	,被災農	1件 (計6市 市, 松島 ・農山漁	町 気仙沼 島町, 七ヶ浜	市, 南三陸(:町)	町, 塩竃市, 整備事業の	多賀城
		## ++ -1. ** **			事業0	D分析結果			<i>f</i> - #		E 13 \ \$5 / 3	· m \
	25	農林水産部		①必要性	②有効性	3効率性	次年度0	D方向性		1	見込)額(刊 T	
		農村振興課	震災復興 4① ❸	妥当	成果があった	効率的	廃.	īΕ	H22 _	H23 20,915	H24 -	H25 -
					事業根	 玩要			平成23	年度の実施		果
22		.農業経営再開復 援事業	19,286	開マスターフ	をで受けた地プランを作成し アランを作成し に必要な取組	, プランの実		いて経り ・また, 2	営再開マスタ	タープランを きに, プラン(地域におけ農地集積
					事業0	D分析結果		I				
		農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度0	D方向性	年度	を別決算()	見込)額(刊	-円)
	30	農業振興課	震災復興	妥当	成果があっ	概ね効率的	拡	充	H22	H23	H24	H25
			416		た 				-	19,286	-	_
				震災により畜	事業机 舎の流出等生		害を受け	交付集	平成23: 續7市町,		拖状況•成∮	果
]再建家畜導入支 策事業	9,112	た生産者の負	負担軽減を図	るため,経営	再建,生		≊額9, 112 ⁻			
		# 11 1			事業0	D分析結果		1				
	0.1	農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	D方向性	牛皮	を別 次昇()	見込)額(刊	-円)
	31	畜産課	震災復興	妥当	成果があった	効率的	維	持	H22	H23	H24	H25
			414		. –	T ATT				9,112		
24		生産地域再生のた 先端技術展開事		させるため, 業,大学等に 組み合わせ」 て大規模実調 あわせて,実	≦証された先端 「の農業を支え	料供給基地と は験研究機関 いる多様な先は 業法人等のほ は技術を体系	,民間企 端技術を ほ場におい 化し,新し	施設等研究課	4年度からの の整備, オー)本格的な& ープンラボの	を状況・成: 研究実施に「 ン運営準備及 整備を行っ	向け, 園芸 みび新たな
		農林水産部			, ,,,,,,	D分析結果	•		年度	F別決笪()	見込)額(升	-円)
	32	The state of the s	毒巛华 罒	①必要性	②有効性	③効率性	次年度0	D方向性	H22	H23	H24	H25
		農業振興課	震災復興 4① ④	妥当	成果があった	効率的	拡	充	-	10,378	П 24 -	- -
					事業根				平成23	年度の実施	拖状況・成	果
25		・木材産業施設早 開支援事業	4,556,462	や製材所なる 図るため,建	で甚大な被害 どの木材産業 屋や製造機材 理・修繕,撤せ	の早急な操業 _域 等の施設復	美再開を [旧経費	※国の の早期	第1次補正に	こよる緊急すことで,応急	(製材5社, 支援を受け, 仮設住宅等	生産体制
		農林水産部			事業0	D分析結果			年度	F则选管/I	見込)額(円	=四)
	33	成你小连叫		①必要性	②有効性	③効率性	次年度0	力方向性	干货	マかの昇い	元之/領(1	(T)
		林業振興課	震災復興 4② ❶	妥当	成果があっ た	効率的	廃.	止	H22 _	H23 4,556,462	H24	H25 _
		ļ	TEE		· -					1,000,402		<u> </u>

					事業概	平 更			亚成23	年度の宝装	拖状況•成	里
				震災により被	害が発生して		受につい	•復旧T		120人)/37路線, 5		*
	林谊	並施設早期復旧事		て,県民生活	5の保全と木材					1路線, 16筐		
	業		152,108	るため, 早期	復旧を図る。							
26					<u></u>				ı			
		農林水産部		(a) \$1 - T 11		D分析結果		- 1 - 4 10	年度	を を 別決算()	見込)額(升	-円)
	34			①必要性	②有効性 ある程度	③効率性	次年度0)万何性	1100	1100	1104	LIDE
		林業振興課	震災復興 4② ①	妥当	成果があっ	概ね効率的	縮	小	H22	H23 152,108	H24	H25
			700		<u>た</u> 事業概	 牙要			平成23:			<u> </u>
				県内木材需	要先の多くが		受け, 木	間伐材			(17社, 約7	•
		き・木材産業活力維			通が停滞して レて丸太や木材						社,約177千 K止に伴い,	
	持緊	紧急支援事業	258,147	の輸送経費	こ対し補助す	る。また,津波	どにより流	量の激	减,経営悪何	化などが懸れ	念されたが、	流通経費
27				出した丸太を	・回収・処理す	る経費に対し	補助す	の負担: た。	増を軽減し,	流通体制の	の維持を図る	らことができ
				30	 事業 <i>0</i>	D分析結果		7-0				
		農林水産部		①必要性	②有効性	3効率性	次年度0)方向性	年度	を別決算()	見込)額(千	-円)
	35	11 11 15 cm = m	震災復興	Zi W	成果があっ	机飞光表码	64-	l-t-	H22	H23	H24	H25
		林業振興課	420	妥当	た	概ね効率的	維	1 1	_	258,147	_	_
					事業概						拖状況•成↓	-
	٠	ᇎᇷᆉᇧᆂᇃᇬᇎ			災した気仙沼 保管されてい						了し,海洋技 で合計7.0	
		€都市活力強化対 ☑援事業	2.360.019	海洋投入と,	最終廃棄物外	処分場への埋	め立て処	た。				
			2,000,010	ガを打り。よん	た,被災した魚 施設等の改修				_詩 等の復旧に 支援事業で	,	34水産業共	5回利用 施
28		_		等の修理・購	計入などの経費				T			
		農林水産部	形如10 形如		事業の	D分析結果			年 年	明決質(見込)額(千	-円)
	36		取組12,取組 28に再掲	①必要性	②有効性	③効率性	次年度0)方向性	7.3	(2) 10 (3+	76.2 <u>2</u> 7.12 (1	1 3/
		水産業振興課	震災復興	妥当	ある程度	概ね効率的	廃.	ıŀ	H22	H23	H24	H25
		小庄不瓜共 麻	430	ж ¬	た		//-		-	2,360,019	_	-
				油油により	事業相に また ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま		7古光长	. W E-F			拖状況・成り /ソナー調査	•
	渔場	 		設,漁網,漁	船,流木等か	がれきとなり,	相当量	岸かられ	中合域におり	けるマルチン	スキャンソナ	一調査によ
	業		14,050	漁場に流出しことから、宮は	ン, 海底に堆積 成県の主要海	責していると考 域でサイドス:	えられるキャンソ		ヽ流出したメ と作業に活		えを把握し, タ	効率的なガ
29				ナー等を用い	いて海底状況	を調査する。		. ()10(=	-11 /2(1-11)	1,072		
23					車業/	D分析結果			1			
		農林水産部		①必要性	②有効性	3効率性	次年度の)方向性	年度	医別決算()	見込)額(千	一円)
	37	水産業基盤整備	震災復興		成果があっ				H22	H23	H24	H25
		課	43 0	妥当	た	効率的	廃.	IĖ.	_	14,050	_	-
		•			事業概	既要					拖状況・成 ∮	-
	. ـ ـ ا			漁業生産力の運	の回復を図る 仅などを実施 [、]	ため,磯場に	漂着した 油業従				名が従事し	
	漁場事業	陽生産力回復支援 ₹	7,475,127	事者及び地	成なこを			4千5百		///// 貝亚玉	- マノコロ・サノバ	L HSIOIO ISH
	•		7,470,127									
30		_							T			
		農林水産部		0 ::=::		D分析結果			年度	医別決算(!	見込)額(千	-円)
	38			①必要性	②有効性 ある程度	③効率性	次年度0)万向性				1
		水産業基盤整備 課	震災復興 4③ ❶	妥当	成果があっ	概ね効率的	廃.	止	H22	H23 7,475,127	H24	H25
\vdash			40 U		<u>た</u> 事業相				平成23		<u> </u>	<u> </u>
					かに底曳網漁	船が使用する	らがれき		へ計38張り	のガレキ回り	又装置(丈夫	な底曳網)
		医清掃資材購入支		回収装置の	購入費等を補	助する。		の購入	を補助し、亥	か率的なガレ	キ撤去が行	われた。
	援事	業	100,000									
31												
					 事業 <i>0</i>	 D分析結果		<u> </u>				
		農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の)方向性	年度	を別決算()	見込)額(刊	-円)
	39	水産業基盤整備	震災復興	五小	成果があっ	***	⊯ -	ıL.	H22	H23	H24	H25
		課	43 0	妥当	た	効率的	廃.	TC	_	100,000		
			_	_	_		_		_			

			Т								- II "	_
				Lil. Was a s	事業概		- 3				を状況・成 身	•
					地魚市場の製						5巻売場, 牡	
		詳度魚介類安定供		を設置する	特に効果の高い	い流 野海水氷	、製水機				設置が決定 成24年3月(
	給事	事業	600,000	で以直りる。							以24年3月1 C鮮度保持前	
20											に導入され	
32					÷ ** ′	N八+			I			
		農林水産部		①必要性	事業の ②有効性	D分析結果 ③効率性	次年度0	7.古向性	年度	度別決算(身	見込)額(千	-円)
	40		震災復興	0.221.2	成果があっ	<u> </u>		ノノJ I^EJ Iエ	H22	H23	H24	H25
		水産業振興課	展火後 與 4③ ①	妥当	放来があっ	概ね効率的	廃	止	_	600,000	-	-
		<u>.</u>			事業概	既要			平成23:	年度の実施	包状況•成績	果
					岛,水産加工約						「団体に対し	
		全物加工流通施設		設等の復旧	及び機器の整	備費を補助す	する。				場の早期再 との早期復旧	
	復比	日支援事業	18,745,214					た。	1-1/1 <u>-1</u> -7 -7 -7	ען שונו לני ויניין	(*) 	TC A IINO
33												
33					声 类 /	D分析結果			I			
		農林水産部		1)必要性	②有効性	3効率性	次年度0	カカ向性	年度	度別決算(見込)額(千	-円)
	41		雪巛 復 卿	(1) 2 (3)		@ <i>M</i> +II	火干及 。	77J I-J IX	H22	H23	H24	H25
		水産業振興課	震災復興 4③ ❶	妥当	成果があっ た	効率的	維	持	-	18,745,214	-	-
		1	1.0.0		事業概	I					<u>┃</u> 包状況・成績	<u> </u>
				被災した海塩	尹未何 岛,水産加工美		の共同	• 氨仙辺			セルバ・ル 3 3団体に対し	-
	水产	奎物加工流通施設			の整備に係る			億円を	交付決定済	み。水産加	工業協同組	
		^{生初加工} 流通心設 備支援事業	17,492,500					利用施	設の早期復	興に貢献し	た。	
			1,132,330									
34			<u></u>	<u> </u>								
		典廿小辛却			事業0	D分析結果			Æ	生则:45 年 / 5	ヨンストがもんで	:==)
	42	農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度0	D方向性	牛馬	2.加决异(5	見込)額(千	- 1)
	42		震災復興	73.W	成果があっ	±1 ±24	446	Let-	H22	H23	H24	H25
		水産業振興課	430	妥当	た	効率的	維	行	-	17,492,500	-	-
		-			事業概	要	-		平成23:	年度の実施	布状況・成績	
						~~						1
					殖施設などか	ぶ滅失した養死					- 5ため, 漁場	調査に基
		岸養殖業安定化対		(カキ, ワカメ	種施設などか , ホヤ) の幼生	ぶ族失した養死 と分布, 生育4	伏況等を	づく種詰	古確保等に	必要な情報	- るため, 漁場 提供を行っ7	·調査に基 た。
		≑養殖業安定化対 災害復旧事業	6,257	(カキ, ワカメ 把握するため	殖施設などか	ぶ族失した養死 生分布, 生育場 を従来より拡大	伏況等を てして調	づく種i 養殖i	古確保等に 通報:種ガキ	必要な情報 14報, ホヤ	- 5ため, 漁場	·調査に基 た。 V12報
35	策災		6,257	(カキ, ワカメ 把握するため	殖施設などか , ホヤ)の幼生 り, 調査海域を	ぶ族失した養死 生分布, 生育場 を従来より拡大	伏況等を てして調	づく種i 養殖i	古確保等に 通報:種ガキ	必要な情報 14報, ホヤ	- るため, 漁場 提供を行った 11報, ワカメ	·調査に基 た。 V12報
35	策災		6,257	(カキ, ワカメ 把握するため 査し, 漁業者	殖施設などか (, ホヤ)の幼生 か, 調査海域を () への情報提信	ぶ滅失した養好 を分布,生育⅓ を従来より拡大 共や養殖指導	伏況等を てして調	づく種i 養殖i	古確保等に 通報:種ガキ	必要な情報 14報, ホヤ	- るため, 漁場 提供を行った 11報, ワカメ	·調査に基 た。 V12報
35	策災	炎害復旧事業 農林水産部	6,257	(カキ, ワカメ 把握するため 査し, 漁業者	殖施設などが , ホヤ)の幼生 か, 調査海域を たへの情報提信 事業の	ぶ族失した養死 生分布, 生育場 を従来より拡大	状況等を こして調 な実施す	づく種苗 養殖道 ・ホヤ人	苗確保等に 通報:種ガキ 、工採苗技術	必要な情報: 14報, ホヤ 所指導を16均	- るため, 漁場 提供を行った 11報, ワカメ	調査に基 た。 K12報 上。
35	策災	炎害復旧事業 農林水産部		(カキ, ワカメ 把握するため 査し, 漁業者 る。 ①必要性	殖施設などが ,ホヤ)の幼生 か,調査海域を たへの情報提信 事業の ②有効性	ぶ滅失した養卵 主分布,生育料 上従来より拡大 共や養殖指導 の分析結果 ③効率性	状況等を てして調 車を実施す 次年度 0	づく種i 養殖i ・ホヤ人	苗確保等に 通報:種ガキ 、工採苗技術	必要な情報: 14報, ホヤ 所指導を16均	- ろため, 漁場 提供を行った 11報, ワカメ 也区で行った	調査に基 た。 K12報 上。
35	策災	炎害復旧事業 農林水産部	震災復興	(カキ,ワカメ 把握するため 査し,漁業者 る。	殖施設などが , ホヤ)の幼生 か, 調査海域を たへの情報提信 事業の	ぶ滅失した養秀 と分布,生育料 と従来より拡大 共や養殖指導 の分析結果	状況等を こして調 な実施す	づく種i 養殖i ・ホヤ人	苗確保等に 通報:種ガキ 工採苗技術 年度	必要な情報: 14報,ホヤ 所指導を16均 を別決算 (リ	るため、漁場場 提供を行った 11報、ワカメ 也区で行った 見込)額(千	調査に基 た。 R12報 こ。
35	策災	災害復旧事業 農林水産部 水産業基盤整備		(カキ, ワカメ 把握するため 査し, 漁業者 る。 ①必要性	殖施設などが , ホヤ)の幼生 か, 調査海域を たの情報提信 事業の ②有効性 成果があった	ぶ滅失した養死 主分布,生育料 主従来より拡大 共や養殖指導 の分析結果 ③効率性 効率的	状況等を てして調 車を実施す 次年度 0	づく種i 養殖i ・ホヤ人	苗確保等に 通報:種ガキ 工採苗技術 年度 H22	と要な情報。 14報, ホヤ 所指導を16期 医別決算 (H23 6,257	3ため,漁場 提供を行った 11報,ワカメ 也区で行った 見込)額(千 H24	調査に基 た。 (12報 二。 一円) H25
35	策災	災害復旧事業 農林水産部 水産業基盤整備	震災復興	(カキ, ワカメ 把握するため 査し, 漁業者 る。 ①必要性 妥当	殖施設などが ,ホヤ)の幼生 か,調査海域を たへの情報提信 事業の ②有効性 成果があっ	ぶ滅失した養死 主分布,生育料 全従来より拡大 共や養殖指導 の分析結果 ③効率性 効率的 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	大沢等を たして調 手を実施す 次年度の 統	がく種i 養殖道 ・ホヤ人 D方向性 合	苗確保等に 通報:種ガキ 工採苗技術 年度 H22 - 平成23:	と要な情報: 14報, ホヤ 所指導を16は を別決算 (H23 6,257 年度の実)	るため、漁場場 提供を行った 11報、ワカメ 也区で行った 見込)額(千	調査に基 たい (12報 二 一円) H25 ー
35	43	災害復旧事業 農林水産部 水産業基盤整備	震災復興	(カキ, ワカメ 把握するため 査し, 漁業者 る。 ①必要性 妥当	殖施設などが ,ホヤ)の幼生 か,調査海域を たの情報提信 事業の ②有効性 成果があった 事業概	ぶ滅失した養死 主分布,生育料 全従来より拡大 共や養殖指導 の分析結果 ③効率性 効率的 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	大沢等を たして調 手を実施す 次年度の 統	づく種i 養殖i ・ホヤ人 ウ方向性 合	苗確保等に、 ・ 種類:種ガキ ・ 工採苗技術 ・ 年度 ・ 中の災害復 であった。	と要な情報: 14報, ホヤ 所指導を16は を別決算 (H23 6,257 年度の実) 旧事業査定	るため、漁場 提供を行った 11報、ワカメ 也区で行った 見込)額(千 日24 日24 日24 日25 日26 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27	調査に基 た。 *12報 二円) H25 上 定率は
35	43	炎害復旧事業 農林水産部 水産業基盤整備 課	震災復興	(カキ, ワカメ 把握するため 査し, 漁業者 る。 ①必要性 妥当 震災により被助する。	殖施設などが ,ホヤ)の幼生 か,調査海域を たの情報提信 事業の ②有効性 成果があった 事業概	ぶ滅失した養死 主分布,生育料 全従来より拡大 共や養殖指導 の分析結果 ③効率性 効率的 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	大沢等を たして調 手を実施す 次年度の 統	づく種i 養殖i ・ホヤ人 かホヤ人 かホヤ人 合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	苗確保等に、 ・ 種類:種ガキ ・ 工採苗技術 ・ 年度 ・ 中の災害復 であった。 ミ績報告書の	と要な情報: 14報, ホヤ 所指導を16は を別決算 (H23 6,257 年度の実) 旧事業査定	5ため,漁場 提供を行った 11報,ワカメ 也区で行った 見込)額(千 H24 -	調査に基 た。 *12報 二円) H25 上 定率は
	策災 43 養殖	炎害復旧事業 農林水産部 水産業基盤整備 課	震災復興 43 ❶	(カキ, ワカメ 把握するため 査し, 漁業者 る。 ①必要性 妥当 震災により被助する。	殖施設などが ,ホヤ)の幼生 か,調査海域を たの情報提信 事業の ②有効性 成果があった 事業概	ぶ滅失した養死 主分布,生育料 全従来より拡大 共や養殖指導 の分析結果 ③効率性 効率的 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	大沢等を たして調 手を実施す 次年度の 統	づく種i 養殖i ・ホヤ人 ウ方向性 合	苗確保等に、 ・ 種類:種ガキ ・ 工採苗技術 ・ 年度 ・ 中の災害復 であった。 ミ績報告書の	と要な情報: 14報, ホヤ 所指導を16は を別決算 (H23 6,257 年度の実) 旧事業査定	るため、漁場 提供を行った 11報、ワカメ 也区で行った 見込)額(千 日24 日24 日24 日25 日26 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27	調査に基 た。 *12報 二円) H25 上 定率は
35	策災 43 養殖	炎害復旧事業 農林水産部 水産業基盤整備 課	震災復興 43 ❶	(カキ, ワカメ 把握するため 査し, 漁業者 る。 ①必要性 妥当 震災により被助する。	殖施設などが ,ホヤ)の幼生 か,調査海域を た 事業の ②有効性 成果があった 事業権 災した養殖が	ぶ滅失した養死 主分布,生育状 主従来より拡大 共や養殖指導 の分析結果 ③効率性 効率的 変要 変更の原形復	大沢等を たして調 手を実施す 次年度の 統	づく種i 養殖i ・ホヤ人 かホヤ人 かホヤ人 合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	苗確保等に、 ・ 種類:種ガキ ・ 工採苗技術 ・ 年度 ・ 中の災害復 であった。 ミ績報告書の	と要な情報: 14報, ホヤ 所指導を16は を別決算 (H23 6,257 年度の実) 旧事業査定	るため、漁場 提供を行った 11報、ワカメ 也区で行った 見込)額(千 日24 日24 日24 日25 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27	調査に基 た。 *12報 二円) H25 上 定率は
	策災 43 養殖	災害復旧事業 農林水産部 水産業基盤整備 課 直施設災害復旧事	震災復興 43 ❶	(カキ, ワカメ 把握するため 査し, 漁業者 る。 ①必要性 妥当 震災により被助する。	殖施設などが ,ホヤ)の幼生 か,調査海域を たの情報提信 事業の ②有効性 成果があった 事業が が を 選集を が が た。 事業が が た。 事業が が た。 事業が た。 また を う。 また を う。 は た。 た。 た。 を う。 た。 た。 を う。 た。 を う。 た。 を う。 た。 を う。 を う	ぶ滅失した養死 主分布,生育料 主従来より拡大導 力分析結果 ③効率性 効率的 悪数の原形復 の分析結果	大沢等を 大して調 を実施す 次年度の 統	がく種 養殖 ・ホヤ人 かホヤ人 かホヤ人 合 ・2,230付 99.8%・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	苗確保等に、 ・ 種類:種がき、 ・ 工採苗技術 ・ 中の災害復 ・ であった。 ・ 表の表した。 ・ まるのと、 ・ であった。 ・ であった。	と要な情報: 14報, ホヤ 所指導を16場 E別決算(H23 6,257 年度の実 印事業査定 の提出があっ	5ため、漁場 提供を行った 11報、ワカメ 也区で行った 見込)額(千 H24 - を状況・成身 でを受け、査済	調査に基 た。 R12報 こ。 一円) H25 上。 果 実 補助金交
	(策) 43 養業	災害復旧事業 農林水産部 水産業基盤整備 課 直施設災害復旧事	震災復興 43 ❶	(カキ, ワカメ 把握するため 査し, 漁業者 る。 ①必要性 妥当 震災により被助する。	殖施設などが ,ホヤ)の幼生 か,調査海域を た 事業の ②有効性 成果があった 事業権 災した養殖が	ぶ滅失した養死 主分布,生育状 主従来より拡大 共や養殖指導 の分析結果 ③効率性 効率的 変要 変更の原形復	大沢等を たして調 手を実施す 次年度の 統	がく種 養殖 ・ホヤ人 かホヤ人 かホヤ人 合 ・2,230付 99.8%・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	苗確保等に、 ・ 種類:種がき、 ・ 工採苗技術 ・ 中の災害復 ・ であった。 ・ 表の表した。 ・ まるのと、 ・ であった。 ・ であった。	と要な情報: 14報, ホヤ 所指導を16場 E別決算(H23 6,257 年度の実 印事業査定 の提出があっ	るため、漁場 提供を行った 11報、ワカメ 也区で行った 見込)額(千 日24 日24 日24 日25 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27	調査に基 た。 R12報 こ。 一円) H25 上。 果 実 補助金交
	策災 43 養殖	災害復旧事業 農林水産部 水産業基盤整備 連施設災害復旧事 農林水産部 水産業基盤整備	震災復興 43 ❶	(カキ, ワカメ 把握するため 査し, 漁業者 る。 ①必要性 妥当 震災により被助する。	殖施設などが (ホヤ)の幼生 (カ、湖南情報提信 事業の (②有効性 成果があった 事業が (②有効性 (②有効性 (②有効性 (②有効性 (②有効性 (②有効性 (②有効性 (②有効性 (②有効性 (②有効性 (②有効性 (②有効性 (②有効性 (②有効性 (②有効性 (②有効性 (②有効性 (③))	ぶ滅失した養死 主分布,生育科 主従来表面指導 か分析結果 効率的 要 の分析結果 の分析結果 の分析結果 の分析結果 の分析結果 の分析結果 の分析結果 の分析は関係を表面に関係している。 ののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	大沢 等を 大八 等を で 実施す 次年度の 次年度の 次年度の	つ (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本	苗確保等に、 ・ 種類:種がき、 ・ 工採苗技術 ・ 中の災害復 ・ であった。 ・ 表の表した。 ・ まるのと、 ・ であった。 ・ であった。	と要な情報: 14報, ホヤ 所指導を16場 E別決算(H23 6,257 年度の実 印事業査定 の提出があっ	5ため、漁場 提供を行った 11報、ワカメ 也区で行った 見込)額(千 H24 - を状況・成身 でを受け、査済	調査に基 た。 R12報 こ。 一円) H25 上。 果 実 補助金交
	(策) 43 養業	災害復旧事業 農林水産部 水産業基盤整備 課 直施設災害復旧事	震災復興 4③❶ 15,000,000	(カキ, ワカメ 把握するため 査し, 漁業者 る。 ①必要性 妥当 震災により被助する。	殖施設などが (ホヤ)の幼生 (カ、調査・ (本本)の幼生 (本本)の幼生 (本本)の一 (本本)の (本本)の (本本)の (本本)の幼生 (本本)の (本本)の (本本)の (本本)の (本本)の (本本)の幼生 (本本)のの (本本)の幼生 (本本)のの (本本)の幼生 (本本)のの (本本)の (本)の (a)	ぶ滅失した養死 主分布,生育料 主従来より拡大導 力分析結果 ③効率性 効率的 悪数の原形復 の分析結果	大沢等を 大して調 を実施す 次年度の 統	つ (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本 (本	苗確保等に対する ・	と要な情報: 14報, ホヤ 新指導を16場 E別決算(H23 6,257 年度の実 印事業査定 の提出があっ E別決算(!	5ため、漁場 提供を7カメ 11報、ワカメ 也区で行った 見込)額(千 H24 セ状況・成身 ったものから 見込)額(千	調査に基 た。 R12報 一一円) H25 上。 来 車率は 補助金交
	(策) 43 養業	災害復旧事業 農林水産部 水産業基盤整備 連施設災害復旧事 農林水産部 水産業基盤整備	震災復興 4③ ● 15,000,000	(カキ, ワカメ 把握するため 査し, 漁業者 る。 ①必要性 妥当 震災により被助する。	殖施設などが (カホヤ)の幼生 (カナ)の海域を (カナ)の (カナ)の (カナ)の (カナ)の (カナ)の (カナ)の (カナ)の (カナ)の (カナ)の (カナ	www.complexity (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	大いででででいます。 次年度の 次年度の 次年度の 次年度の 次年度の 次年度の 次年度の 次年度の 次年度の た実施する。	が養殖が ・ホヤ人方向性・2,230付 99.8%・ ・向を行っか方向性止	苗確保等に、 ・	と要な情報: 14報, ホヤ 新指導を16場 E別決算(リートリー・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3ため、漁場 提供をフカメ 11報、ワカメ 也区で行った 見込)額(千 を状況・成場 でたものから 見込)額(千 日24 日24 日25 日26 日26 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27	調査に基 だい。 *12報 - 円) - 果 - 車 ・ 対象交 - 円) - H25 - 円) - H25 - 円)
	(策) 43 養業	災害復旧事業 農林水産部 水産業基盤整備 連施設災害復旧事 農林水産部 水産業基盤整備	震災復興 4③ ● 15,000,000	(カキ, ワカメ 把握するため 査し, 漁業者 る。 ①必要性 妥当 震災により被助する。	殖施設などが があった。 事業性 成果があった。 事業が なりとである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でのは、 でである。 でのは、 でである。 でのは、 でのない。 でのは、	ぶ滅失した養殖 上と従れの かけい かけい かけい ない な	大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで	方向性 ・ホヤ人 方向性 ・2,230付 ・99.8%・ ・協修等 ・2漁協	苗確保等に、 ・	と要な情報: 14報,ホヤボ 新指導を16場 E別決算(H23 6,257 年度の実 正事業 産 の提出があっ E別決算(「現場の で	3ため、漁場 提供を行った 11報、ワカメ 也区で行った 見込)額(千 日本状況・成身 を受け、査定 つたものから 見込)額(千 日本状況・成身 を受け、査定 日本のから	調査に基 だこ報 (1)2報 (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-)
	策 43 養業 44 養殖	災害復旧事業 農林水 業基盤整備 水産業 事 を選出を とは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	震災復興 43 ① 15,000,000 震災復興 43 ①	(カキ,ワカメ) 把握する。 ①必要性 妥当 震災により被助する。	殖施設などが (カホヤ)の幼生 (カナ)の海域を (カナ)の (カナ)の (カナ)の (カナ)の (カナ)の (カナ)の (カナ)の (カナ)の (カナ)の (カナ	ぶ滅失した養殖 上と従れの かけい かけい かけい ない な	大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで	方向性 ・ホヤ人 方向性 ・2,230付 ・99.8%・ ・協修等 ・2漁協	苗確保等に、 ・	と要な情報: 14報,ホヤボ 新指導を16場 E別決算(H23 6,257 年度の実 正事業 産 の提出があっ E別決算(「現場の で	3ため、漁場 提供をフカメ 11報、ワカメ 也区で行った 見込)額(千 を状況・成場 でたものから 見込)額(千 日24 日24 日25 日26 日26 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27	調査に基 だい。 *12報 - 円) - 果 - 車 ・ 対象交 - 円) - H25 - 円) - H25 - 円)
	策 43 養業 44 養殖	災害復旧事業 農林水産部 水産業基盤整備 連施設災害復旧事 農林水産業 農林水産業 農林水産業 農林水産業 農林水産業	震災復興 4③ ● 15,000,000	(カキ,ワカメ) 把握する。 ①必要性 妥当 震災により被助する。	殖施設などが があった。 事業性 成果があった。 事業が なりとである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でのは、 でである。 でのは、 でである。 でのは、 でのない。 でのは、	ぶ滅失した養殖 上と従れの かけい かけい かけい ない な	大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで	方向性 ・ホヤ人 方向性 ・2,230付 ・99.8%・ ・協修等 ・2漁協	苗確保等に、 ・	と要な情報: 14報,ホヤボ 新指導を16場 E別決算(H23 6,257 年度の実 正事業 産 の提出があっ E別決算(「現場の で	3ため、漁場 提供をフカメ 11報、ワカメ 也区で行った 見込)額(千 を状況・成場 でたものから 見込)額(千 日24 日24 日25 日26 日26 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27	調査に基 だこ報 (1)2報 (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-)
36	策 43 養業 44 養殖	災害復旧事業 農林水 業基盤整備 水産業 事 を選出を とは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	震災復興 43 ① 15,000,000 震災復興 43 ①	(カキ,ワカメ) 把握する。 ①必要性 妥当 震災により被助する。	殖施設などが があった。 事業性 成果があった。 事業が なりとである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でのは、 でである。 でのは、 でである。 でのは、 でのない。 でのは、	ぶ滅失した養殖 上と従れの かけい かけい かけい ない な	大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで	方向性 ・ホヤ人 方向性 ・2,230付 99.8%・ ・随を行っ 力方向性 止	苗確保等に、 ・	と要な情報: 14報,ホヤボ 新指導を16場 E別決算(H23 6,257 年度の実 正事業 産 の提出があっ E別決算(「現場の で	3ため、漁場 提供をフカメ 11報、ワカメ 也区で行った 見込)額(千 を状況・成場 でたものから 見込)額(千 日24 日24 日25 日26 日26 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27	調査に基 だこ報 (1)2報 (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-)
	策 43 養業 44 養殖	災害復旧事業 農林水 業基盤整備 水産業 事 を選出を とは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	震災復興 43 ① 15,000,000 震災復興 43 ①	(カキ,ワカメ) 把握する。 ①必要性 妥当 震災により被助する。	殖施設などが (カホヤ)の幼生 (カナ)の海域を (カナ)を有報提信 (カナ)を有報提信 (カナ)を有数がある。 (全)有がある。 (全)有がある。 (全)有がある。 (全)有がある。 (本)では、 (本)では	減失した養殖大大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大	大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで	方向性 ・ホヤ人 方向性 ・2,230付 99.8%・ ・随を行っ 力方向性 止	苗確保等に、 ・	と要な情報: 14報,ホヤボ 新指導を16場 E別決算(H23 6,257 年度の実 正事業 産 の提出があっ E別決算(「現場の で	3ため、漁場 提供をフカメ 11報、ワカメ 也区で行った 見込)額(千 を状況・成場 でたものから 見込)額(千 日24 日24 日25 日26 日26 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27	調査に基 だこ報 (1)2報 (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-)
36	策 43 養業 44 養殖	災害復旧事業 農林水 業基盤整備 水産業 事 を選出を とは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	震災復興 43 ① 15,000,000 震災復興 43 ①	(カキ, ワカメ 把握する。 ①必要性 妥当 震災により被助する。 ①必要性 妥当 養殖業人及び 養殖業人及び	殖施設な幼生 (2) 有 数 あ か ま 業 が は ま 業 が と ま 業 が と ま 業 が と ま 業 が と ま ま で ま ま ま ま ま で ま	x滅失所, は x減分析 x減分析 x <td>(大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)</td> <td>ごく養殖 ・ホヤ人 ・2,230付 99.8%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td> <td>古確保等に対する ・</td> <td> と要な情報: 14報,ホヤボ 指導を16場 長別決算(見) 日本 (日本) 日本 (日本)<</td> <td>3ため、漁場 提供をフカメ 11報、ワカメ 也区で行った 見込)額(千 を状況・成場 でたものから 見込)額(千 日24 日24 日25 日26 日26 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27</td> <td>調査に基 た。 R12報 - 円) H25 東 来 本 補助金交 - 円) H25 - 円)</td>	(大)	ごく養殖 ・ホヤ人 ・2,230付 99.8%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	古確保等に対する ・	 と要な情報: 14報,ホヤボ 指導を16場 長別決算(見) 日本 (日本) 日本 (日本)<	3ため、漁場 提供をフカメ 11報、ワカメ 也区で行った 見込)額(千 を状況・成場 でたものから 見込)額(千 日24 日24 日25 日26 日26 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27 日27	調査に基 た。 R12報 - 円) H25 東 来 本 補助金交 - 円) H25 - 円)
36	策 43 養業 44 養殖	後害復旧事業 農林水業 農林水業 事復旧事 直施設災害復田事 直施設災害復田事 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次	震災復興 43 1 15,000,000 震災復興 43 1 500,000	(カキ,ワカメ) 把握する。 ①必要性 妥当 震災により被助する。	殖施設の海域との (本)の一、(本)の	減失した養殖大大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大	大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで 大いで	ごく養殖 ・ホヤ人 ・2,230付 99.8%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	古確保等に対する ・	 と要な情報: 14期 を16期 14期 を16期 15期 決算(15,000,000 年度の実がが成した。 15,000,000 年度の実がが成した。 15,000,000 	るため、漁場 記提供をリカット 記してで行った 記していた。 こしていた。 こしていた。 こしていた。 こしていた。 こしていた。 こしていた。 こしていた。 こしていた。 こしていた。 こしていた。 こしていた。 こしていた。 こしていた。 にしていた。 にしていた。 にしていた。 にしていた。 にしていた。 にしていた。 にしていた。 にしていた。 にしていた。 にしていた。 にしてい	調査に基 た。 R12報 - 円) H25 - 果 本 補助金交 - 円) H25 - 早 直用資機材
36	策 43 養業 44 養整 43	後害復旧事業 農林水業 農林水業 直施設災害復旧事 直施設災害復旧事 農林水業 農林水業 農林水業 農林水業 農林水業 農林水業 農林水業 農林水業	震災復興 43 ① 15,000,000 震災復興 43 ①	(カキ, ワカメ 把握する。 ①必要性 妥当 震災により被助する。 ①必要性 妥当 養殖業人及び 養殖業人及び	殖施設な幼生 (2) 有 数 あ か ま 業 が は ま 業 が と ま 業 が と ま 業 が と ま 業 が と ま ま で ま ま ま ま ま で ま	x滅失所, は x減分析 x減分析 x <td>(大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)</td> <td>方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td> <td>古確保等に対する ・</td> <td> と要な情報: 14報,ホヤボ 指導を16場 長別決算(見) 日本 (日本) 日本 (日本)<</td> <td>5ため、漁場 提供をリカン 11報、行った 見込)額(千 日本状況・成身 でたものから 見込)額(千 日本状況・成身 でたものから 見込)額(千 日本状況・成身 でたものから</td> <td>調査に基 た。 R12報 - 円) H25 - 果 車 相助金交 - 円) H25 - 早 車 用資機材</td>	(大)	方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	古確保等に対する ・	 と要な情報: 14報,ホヤボ 指導を16場 長別決算(見) 日本 (日本) 日本 (日本)<	5ため、漁場 提供をリカン 11報、行った 見込)額(千 日本状況・成身 でたものから 見込)額(千 日本状況・成身 でたものから 見込)額(千 日本状況・成身 でたものから	調査に基 た。 R12報 - 円) H25 - 果 車 相助金交 - 円) H25 - 早 車 用資機材

	_				 , , , ,						- 16 s=	_
					事業概						拖状況•成身	•
					じた海中の瓦						の位置確認な	
	ж ж	生的统纵军岭市来			共等を行うとと				業及び遊漁	船業の適正	三操業を指導	にた。
	洪 亲	東京統和運航事業	23.287	際の位置確認 助活動,漁船	認,密漁取締	,海難事故時	の人命救					
				助活動, 偲州 行う。	台供業の週上:	傑美哲學寺0	ソ兼務を					
38				1170								
					古光	カラカ かっぱん かんかん かんかん かんしゅう かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ						
		農林水産部			T	1			年度	医別決算()	見込)額(千	円)
	47			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の)方向性				
	٦,	小女米卡冏哥	震災復興	27 V	ある程度	*** *** **	(c) He	l-l-	H22	H23	H24	H25
		水産業振興課	430	妥当	成果があった	効率的	維	付	-	23,287	-	-
					事業根	[華			亚成23	年度の宝は		<u> </u>
				雲巛谷の水	産業復興に向		かっ特	•沙· 出 部			件), 沖合調	
	海类	+===本. 长道似华似					_ ,, , ,				業務に着手	
		┊調査・指導船代船 5事業	104	度の高い海洋 て, 県漁業調 行う。	間査指導船の	再編に係る代	船建造を					
	~~~	>/<	104	行う。								
39												
"					Alle	- 0 IC 44 III						
		農林水産部			- 事業0	D分析結果			年度	別決算(	見込)額(千	-円)
	48	DETIVITE P		①必要性	②有効性	③効率性	次年度0	)方向性		C///// (3	, D, Z, D, C, T	1.7
	70	J, 女业+1= cm =m	震災復興	-C 1/4	成果があっ	44 de 11		.,	H22	H23	H24	H25
		水産業振興課	43 <b>0</b>	妥当	た	効率的	廃.	TIT.	-	184	_	-
<u> </u>		<u>I</u>			 事業概	I			平成22			L ■
				対公を	<del>事 未</del> 値 水産業の再生		雪巛ニ	加州	+ 成と3· †象:14団体		四八ル・八六	~
	14	- ** 1			小座乗の舟生 『を受けた水産			* 無助X	] 彖:14 凹 14	7		
		業団体被災施設 建整備支援事業	04.007	合築)の施設	・設備等の再	建を支援し、	当該団体					
	₹#:	<b>建空佣义货争未</b>	24,697		の復興・強化を							
40												
40												
		農林水産部			事業の	D分析結果			在自	明净值(1	見込)額(千	<u>-</u> 田 )
	49	及作外注印		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	)方向性	7.5	2 <i>/</i> 11 <i>/</i> 0 <del>/31</del> (2	元之/祝(1	1 1/
	49	農林水産経営支	震災復興		成果があっ				H22	H23	H24	H25
		援課	432	妥当	た	効率的	維	持	-	24,697	_	_
					 事業概	正面			平成22		 <b>を状況・成</b> り	<b>■</b>
				海拉 业产力	工業協同組 1工業協同組		(((の見)郷	, 合批 [			<b>世代が「及っ</b>  体に対して	
	+n <b>-</b>	- 医似然中白亚尔			ロエ来 励问組 ら加工原料を						より要してい	
		ニ原料等安定確保 チ事業	00,000	かり増し経費	を補助する。				かり増し経費			
	~ 1s	<b>7</b> 7 7	66,000									
41												
`					古米。	N/나드《+ FP						
		農林水産部		ā · — · ·		り分析結果			年度	医別決算()	見込)額(千	一円)
	50			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	)方向性				
		かみ 発性 脚 理	震災復興	概ね妥当	ある程度	概ね効率的	廃	ı la	H22	H23	H24	H25
		水産業振興課	<b>432</b>	1944女子	放果かめつ	別なる次の学可り	<i>昨</i>	11.	_	66,000	-	_
					事業根	既要			平成23:	年度の実施		果
				安全・安心な	養殖水産物		供するた	•宮城県			と施した, 貝	•
	養殖	生産強化支援事		めに義務付い	ナられている債	有生関連検査	を, 震災				対して助成	
	業		4.289		が継続して実力	値するため, 村	<b>倹査費用</b>					
			,,230	を補助する。								
42												
					車業/	の分析結果						
		農林水産部		1) N ## M4	T		<b>加左庄</b> 《	<b>7十</b> 亡业	年度	を別決算(り	見込)額(千	一円)
	51			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	ノカリ性		1	ı	
		水産業基盤整備	震災復興	妥当	成果があっ	効率的	廃	ıŀ.	H22	H23	H24	H25
		課	43 <b>2</b>	<i>∽</i> ¬	た	774 1 HJ	776-			4,289	_	_
					事業概	既要			平成23:	年度の実施	を状況・成身	果
					船の安全航行							
	漁業	<b>美無線の再構築事</b>		県漁業無線:	公社の無線業	務が不可能	となったこ	討会」及	び福島県と	この協議の終	吉果, 来年度	以降, 宮
	業		45,641		とともに無線月 ナス	の再編整備	にかかる	城県は	<b>届</b> 島県無線	局を利用す	ることとした。	
			, , , , , ,	費用を補助で	y 0 ₀							
43			I									
43								ı				
43					事業(	り分析結果						
43		農林水産部		①以亜州		D分析結果 ② _{効率性}	<b>次年度</b>	7.古点州	年度	度別決算()	見込)額(千	一円)
43	52			①必要性	②有効性	D分析結果 ③効率性	次年度の	)方向性				
43	52		震災復興	① <b>必要性</b> 妥当	<ul><li>②有効性</li><li>成果があっ</li></ul>		次年度の		年度 H22	H23	見込)額(千 H24	·円) H25
43	52		震災復興 4③ <b>②</b>		②有効性	③効率性						

			1					1				_
					事業概				平成23	年度の実施	包状況•成身	果
					易20施設のう						及び3カ所の	海中飼育
		・ます生産地震災			生産能力が大				の整備・復用		のたみ かく	(() +>+\ -
	復旧	支援緊急事業	176,458	合け増加事業	と体制を再構築 確保するため,	樂し, 県宝体( 被害調査及	のさけ惟 が計画策	・また、	リク 惟思の。 な化場で生	奴/派級権保 産した健苗(	のため、被災の間上放流	たしなかつ を行った
				定,さけ増殖	[施設の応急的	内整備,さけ和	<b>性魚生産</b>	- / / <	- 10 <i>m</i> ( <u>1</u> .)	,к-ш	- >\//\/\/\	_ 1, //_0
44				経費を補助で	する。							
		## U 1. ** **			事業0	D分析結果			<i>_</i>		= <b>\</b> 7 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	· m ›
		農林水産部		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	)方向性	牛店	を別次昇()	見込)額(千	-H)
	53	J. 女坐甘愈散(#	<b>高</b> 《集网	0.221.	Д H . 11 2	0.7.			H22	H23	H24	H25
		水産業基盤整備 課	震災復興 4③ <b>❸</b>	妥当	成果があった	効率的	廃	止	1122	176,458	1127	1120
		D.T.	43 <b>9</b>			T			<del>-</del>			
				11 -te //e 1 .).	事業根		Lan. de	July /// 2			<b>包状況・成</b> 身	
					失ったふ化場 , 海中飼育施				た2カ所の	サケふ化場	の施設整備	を支援し
	さけ	増殖施設整備事業		ついて 隹絲	化を検討しな	以みのといる	复旧を図	/C。 (H24繰	越)			
			50,301	る。								
45												
40					— Alle a	- 0 IC (4 III			1			
		農林水産部			- 事業0	D分析結果			年度	別決算(	見込)額(千	-円)
	54	DE HOVE AP		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	)方向性	1 12	C///// (5)	, D, C, T	,
	J-T	水産業基盤整備	震災復興	型小	成果があっ	热壶品	44-	<u></u>	H22	H23	H24	H25
		課	43 <b>6</b>	妥当	た	効率的	維	14	_	50,301	-	_
					事業根	既要			平成23:	年度の実施	上 拖状況·成績	<del></del>
				三陸ブランド	として需要が		間で生産	<ul><li>本県で</li></ul>			偶体等を用い	• •
	種苗	生産施設整備事		ができるワカ	メ養殖を広く行	亍うため,本県	具産の天	83,800r	nを漁協に西	記布するとと	もに,人工技	采苗を行う
	業	工生心跃走师子	10,000	然ワカメ母藻	分布調査, 母	は藻や保存し、	ていたフ				施し, 本県養	<b>種業の早</b>
				リー配偶体を 術指導を実力	が利用した種苗 新計ス	1供給と偲美	者への技	期復興	に寄与した。			
46				MILLETTA	IE 7 'a√o							
					事業の	の分析結果						
		農林水産部		①必要性	②有効性	3効率性	次年度の	たの性	年度	を別決算()	見込)額(千	-円)
	55				<u> </u>	<b>⋑</b> ⋈∓⊞	久午及0.	7/J IFJ IX		1100	1104	1105
		水産業基盤整備 課	震災復興	妥当	成果があっ	効率的	廃	ıĿ	H22	H23	H24	H25
		沐	43 <b>8</b>		た			T	_	10,000		_
					事業概						<b>を状況・成</b> 身	-
				震災による漁	魚業者数の減り 上の設立により	少,漁場の地	理的変				内の漁業権 青報システム	
		権変更及び一斉		変更が見込	Lの設立により まれることから	),偲勿司 画() . 新たな漁業	こ八幅な :権制度に				育報システム J替作業の対	
	<b>切り</b>	替え事業	5,163	ついて検討	する。	, 1011 C G 11111 JC	(TE177)	図った。		,,,,,,		
47											16漁場で図	区画漁業権
47					u.	1271 =		<b></b> (思美種	にわかめ変	殖業を追加	<ul><li>変更した。</li></ul>	
		農林水産部			事業の	D分析結果			<b>在</b> 自	明決質(	見込)額(千	-田)
	59	DE HOVE AP		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	)方向性	1 73	C/11// (3F (3	/6,22,7 BR ( 1	1 37
	33	小女类作問題	震災復興	亚亚	成果があっ	*****	6H-	l-l:	H22	H23	H24	H25
		水産業振興課	43 <b>6</b>	妥当	た	効率的	維	17	_	5,163	-	_
					事業根	既要			平成23:	年度の実施		果
				震災により甚	大な被害を受		術総合セ	•水産技			)復旧工事を	-
	水産	試験研究機関復		ンター本所,	水産加工開発				終を再開し			
		備事業	654,678	場の復旧・整	を備を行う。							
48												
		# 11 1. <del>-1</del> 1-			事業0	D分析結果		-			<b>= 17</b> \ #7 / =	
		農林水産部		1)必要性	②有効性	3効率性	次年度の	)方向性	年度	を別決算()	見込)額(千	一円)
	60		<b>電巛佐卿</b>		<u> </u>				H22	H23	H24	H25
		水産業振興課	震災復興 4③ <b>❸</b>	妥当	成果があった	効率的	維	持		654,678	_	- 120
			<b>™</b>			I m			ਯ 🛨 ೧೧			
				田田 12 1416 日日 1 >-	事業根		\T.11.1°	+456			包状況•成績	未
	ــر				連携し,被災に 皆に対して,共			*文援裕	怪営体数6件	•		
	漁業化事	経営改善支援強		* 44 M - 11 H - 1	や経営安定に							
	一手	木	2,874	る経宮再開 [*]		J						
49					— vie	5 / JP / F			T			
		i		I	事業0	り分析結果			I			
		## ++ -1, ->- >-			1		1			エロルキ かた イ	<b>コ 1</b> 7 1 カモノー	· III \
		農林水産部	取組11に再	①必要性	②有効性	3効率性	次年度の	)方向性	年度	医別決算()	見込)額(千	-円)
	61	農林水産部	取組11に再 掲	①必要性	· · · · · · ·	③効率性	次年度の	)方向性		1	T	
	61	農林水産経営支	揭 震災復興		ある程度				年度 H22	E別決算( <u>]</u> H23	見込)額(千 H24	-円) H25
	61		掲	① <b>必要性</b> 妥当	ある程度	③ <b>効率性</b> 概ね効率的				1	T	

					事業根	既要			平成23:	年度の実施	拖状況•成身	Į.
50		型漁船及び定置網 引化支援事業	941,032	船取得・修繕	司利用するた 費, 定置網購			<ul><li>事業等</li><li>漁船</li><li>漁具</li></ul>	注 接施主体 1: 197隻数 7セット 月 18ヶ統	3団体		
		農林水産部		(1) V # 14		の分析結果	<b>冶左连</b> 《		年度	度別決算(5	見込)額(千	円)
	62		震災復興	①必要性	②有効性 成果があっ	③効率性	次年度の		H22	H23	H24	H25
		水産業振興課	43 <b>4</b>	妥当	た	概ね効率的	廃」	比	-	941,032	_	-
51	養殖	<b>1業再生事業</b>	1,508,334		事業机 きな被害を受 等の整備や種	けた養殖業の		・養殖がて助成し	面設の復旧費		<b>も状況・成</b> り Rに要する費	-
		農林水産部				D分析結果			年度	度別決算(	見込)額(千	円)
	63		震災復興	①必要性	②有効性 成果があっ	3効率性	次年度の	)方向性	H22	H23	H24	H25
		課	43 <b>4</b>	妥当	放来があっ た	効率的	廃」	止	-	1,508,334	-	_
52	漁業事業	÷漁港等現況調査 ℄	4,082	本県漁業の復興計画」及証等に必要が画を推進して				<b>を状況・成り</b> 心聞き取り記	-			
		農林水産部				D分析結果			年度	医別決算(	見込)額(千	円)
	64		震災復興	①必要性	②有効性 成果があっ	③効率性	次年度の		H22	H23	H24	H25
		水産業振興課	43 <b>4</b>	<b>岁</b> 当	た	効率的	発」	比	-	4,082	-	-
53	興支	E流通加工業者復 5援事業	1,300	事業概要 水産流通加工業及び国, 県等の補助事業に関・1 する知見を持つ「水産業復興支援コーディネー 団ター」を設置し、県内の水産業者に対し、活用可 申				団法人	っ水産業復 宮城県水産	興支援コー	<b>色状況・成り</b> ディネーター せし,震災復り テった。	・1名を財
		農林水産部		①必亜州		D分析結果	次年度 <i>(</i>	た向性	年度	医別決算()	見込)額(千	一円)
	65		震災復興	<b>①必要性</b>	②有効性 成果があっ	③効率性	次年度 <i>の</i>		年度 H22	₹別決算(∫ H23	見込)額(千 H24	·円) H25
	65	農林水産部水産業振興課	震災復興	① <b>必要性</b> 妥当	<b>②有効性</b> 成果があっ た	③ <b>効率性</b> 効率的	次年度の		H22 -	H23	H24 _	H25 -
54	食品		434	妥当 県内水産加 産物原材料	②有効性 成果があった た 事業相 工品製造業者 調達先が被災 DEM生産なと こ取り組む際の	③効率性 効率的 (要) (等において, にし,代替原材 どで,継続して の掛かり増し系	農林水料や代古場へ	止 ・11社の 再開した 地域から	H22 - 平成23: の食品加工 た。11社のう	H23 1,300 年度の実施 業者が事業 55,7社が問達しながら		H25 - と に製造を 同させ他 でい組み,
54	食品支援	水産業振興課	434	要当 県内水産加 産物原材料 替工場, (の商品供給)	②有効性 成果があった た 事業相 工品製造業者 調達先が被災 DEM生産なと こ取り組む際の	<ul><li>③効率性</li><li>効率的</li><li>無要</li><li>(1) (共替原材)</li><li>(2) (共替原材)</li><li>(3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4</li></ul>	農林水料や代古場へ	止 •11社の 再開した 地域から 4社が他 いる。	H22 - 平成23: つ食品加工 た。11社のう ら原材料を記 も社へ製造す	H23 1,300 年度の実施 業者が事業 55,7社が 調達しながら 委託しながら	H24 - <b>を状況・成り</b> を活用しなが 自社工場を後 o商品供給に	H25 - - * に製造を を見旧させ他 に取り組み, - 再開して
54	食品	水産業振興課 品加工原材料調達 基事業	43 <b>◆</b> 39,055	要当 県内水産加 産物原材料 産物原材料 が商品供給い の商品供給い 成する。	②有効性 成果があった 事業根 工品製造業者 調達先が被災 DEM生産など こ取り組む際の 事業の ②有効性 ある程度 成果があっ	③効率性 効率的	農林水 料や代 「市場へ 至費を助	止 ・11社の 再開した 地域から 4社が他 いる。	H22 - 平成23: つ食品加工 た。11社のう ら原材料を記 も社へ製造す	H23 1,300 年度の実が 業者が事業 うち,7社がら 類達しながら 委託しながら を託しながら	H24 - <b>色状況・成</b> 5 を活用しなが 自社工場を行 5商品供給に 商品供給を	H25 - - * に製造を を見旧させ他 に取り組み, - 再開して
54	食品支援	水産業振興課 加工原材料調達 事業 農林水産部	4 <b>③43434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343434343</b>	要当 県内水産加 産物原材料計 替工場, ( の商品供給) 成する。	②有効性 成果があった 事業視 工品製造業者 調達先が被災 DEM生産など こ取り組む際の 事業の ②有効性 ある程度	③効率性 効率的 (等において, にし,代替原材 どで,継続しての掛かり増し系 の分析結果 (3)効率性 概ね効率的	農林水 料や代 「市場へ 至費を助	止 ・11社の 再開した 地域から 4社が他 いる。	H22 - 平成23: ウ食品加工 こ。11社のう ら原材料を記 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H23 1,300 年度の実が 業者が事業 かち,7社がら 調達しながら 委託しながら を別決算(リ H23 39,055	H24 - を状況・成り を活用しながら 自社工場を役 商品供給で 商品供給を 売品供給を	H25 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
54	食支 67	水産業振興課 加工原材料調達 事業 農林水産部	39,055 39,055 震災復興 4④ <b>①</b>	要当 県内水産加 産物原材料計 を可商品供給い成する。 ①必要性 概ね妥当 被災した県内 復興に向け	②有効性 成果があった 事業機工品製造がを確なと こ取り組とむ際の 事業の ②有効性 ある程があった 事業機大会 の農林・農大会 のの農・財産が、 ののの農・財産が、 のの農・財産が、 のの食・財産が、 のの農・財産が、 のの農・財産が、 のの農・財産が、 のの農・財産が、 のの農・財産が、 のの農・財産が、 のの食・財産が、 のの農・財産が、 のの農・財産が、 のの農・財産が、 のの農・財産が、 のの食・財産が、 のの食・食・食・食・食・食・食・食・食・食・食・食・食・食・食・食・食・食・食	③効率性 効率的  要  デ等において,材  どしての掛かり増しる  の分析結果  ③効効率性  概ね効率的  概要  でも及びた  の表	廃」 農林水 料や代 市場へ 隆費を助 次年度の 拡	・11社4 ・再期した 4社社いる。 ・者路県本 ・者路県外割 ・事業の別れて	H22 - 平成23: つ食品加工できる。11社への表した。11社への表した。11社への表したのでは、11社へ製造を表したのでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社のでは、11社ので	H23 1,300 年度の実施 業者が社がら 大変託しながら を開達しながら を開発 を発表 によって、 は生産の実施 は生産人での出 に 変え に 変え に 表表 に 表表 に 表表 に 表表 に 表表 に 表表	H24 - 位状況・成身を活用しななる自社工場を行用しなるのでは、	H25 - と こ に に し に し に に に に に に に に に に に に に
	食支 67	水産業振興課 加工原材料調達 事業 農林水産部 食産業振興課	39,055 39,055 震災復興 4④ <b>①</b>	妥当 県内水産加票を (1) 水原 (1)	②有効性 成果があった 事業者 正品達性を対している。 事業者 の正成別の正成別の正成別の正成別の正成別の正成別の正成別の正成別の正成別の正成別	③効率性 効率的 要 「等に大きを対した。 の分析結果 の分析結果 のの対象を である。 の分析結果 のの分析 は のののである。 のののである。 ののののでは のののである。 ののののである。 ののののである。	展林水 料や代 で で 大年度の 拡 を サ を サ を サ を サ を サ で 大 に 大 に 大 と で た の た の た の た の た の た の た の た の た の た	<ul><li>・11社4の 再地域が4 4社といる。</li><li>方向性</li><li>充</li><li>・沿方の内 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</li><li>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</li></ul> <li>・ ・ ・ ・ ・</li> <li>・ ・</li> <li>・</li> <li>・ ・</li> <li>・</li> <li>・<td>H22 - 平成23: つ食品加工できる。11社へを言う。11社へを言う。11社へ製造されていた。11社へ製造されていた。11社へ製造されていた。11社へ関連においてに、11社の展示での展示での展示での展示での展示での展示での展示での展示での展示での展示で</td><td>H23 1,300 年度の実施 業者が社がら 素者が社がら 調達しながら を 別決算(リカー・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>H24</td><td>H25</td></li>	H22 - 平成23: つ食品加工できる。11社へを言う。11社へを言う。11社へ製造されていた。11社へ製造されていた。11社へ製造されていた。11社へ関連においてに、11社の展示での展示での展示での展示での展示での展示での展示での展示での展示での展示で	H23 1,300 年度の実施 業者が社がら 素者が社がら 調達しながら を 別決算(リカー・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	H24	H25
	食支 67	水産業振興課 加工原材料調達 基本水産部 食産業振興課 農林水産物・食品 用拡大事業	39,055 震災復興 4④ <b>①</b> 9,500	妥当 県内水産加二産物原材料 替工場, (ののでは、) を 要性 概ね妥当 被災した向けで 見ので	②有効性 成果があった 事業機工品製造が被災のEM生産などこ取り組む際の 事業の ②有効性 あるるがたた。事業機が表した。事業機能が、たまれた。 事業機能がある。 「は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	③効率性 効率的	廃」 農林水 料や代 市場へ 隆費を助 次年度の 拡	・11社4の ・再地域が他いる。 ・	H22 - 平成23: つ食品加工できる。11社へを言う。11社へを言う。11社へ製造されていた。11社へ製造されていた。11社へ製造されていた。11社へ関連においてに、11社の展示での展示での展示での展示での展示での展示での展示での展示での展示での展示で	H23 1,300 年度の実施 業者が社がら 素者が社がら 調達しながら を 別決算(リカー・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	H24	H25

	県産農林水産物等輸 出促進事業(放射能検 査機器整備)			とともに,導入した機器を用いて輸出向け以外の				平成23年度の実施状況・成果 ・東北大学等の協力を得て、農林水産物の放射性物質の測定を行うとともに、ゲルマニウム半導体検出器(放射能測定器)を1台配備し、検査を実施(212品目、延べ1,167点)				
	69	農林水産部	T-40=1	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			取組7に再掲	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の	万问性				
		食産業振興課	震災復興	妥当	成果があっ た	効率的	維持	去	H22	H23	H24	H25
			7 <b>18</b>				小庄17		-	17,942	-	-
	決算	算(見込)額計	93,800,417				•					
決算	(見記	込)額計(再掲分除き)	93,501,917									